



貞要集

四之下

ヲ多  
629  
6





Faint vertical text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.

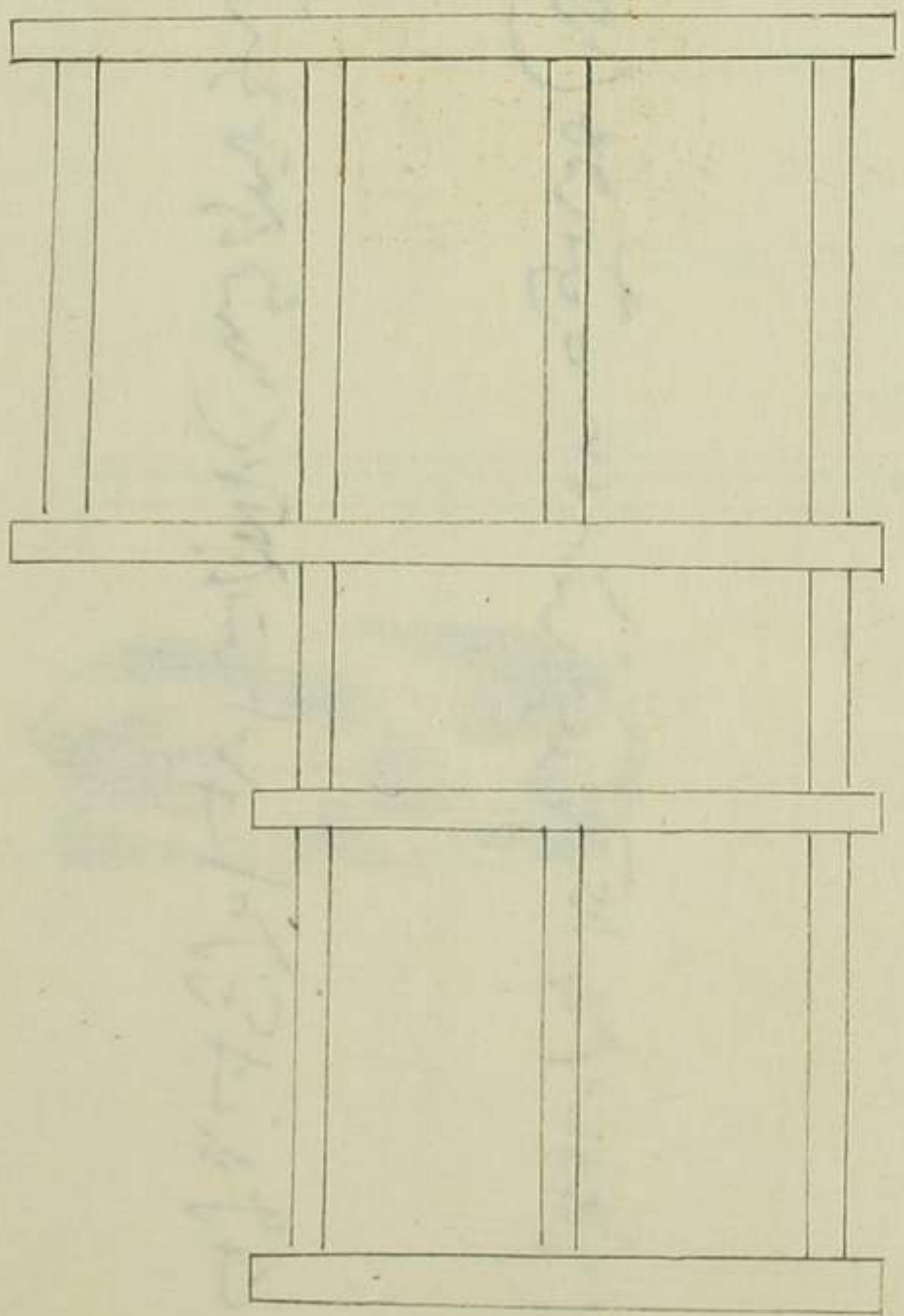






一 刀掛之板長三寸五分幅一尺五分角一尺一寸七分下の板長一尺一寸五分幅五分角五分寸五分

上り下り下の三寸五分幅五分角五分寸五分  
幅可七分長短尺合上下り五分寸  
七分五分幅五分角五分寸五分  
五分五分角五分寸五分  
ツク  
もろ借石の上板と下板に寸幅五分  
五分五分角五分寸五分  
板五分五分角五分寸五分



一 中腰

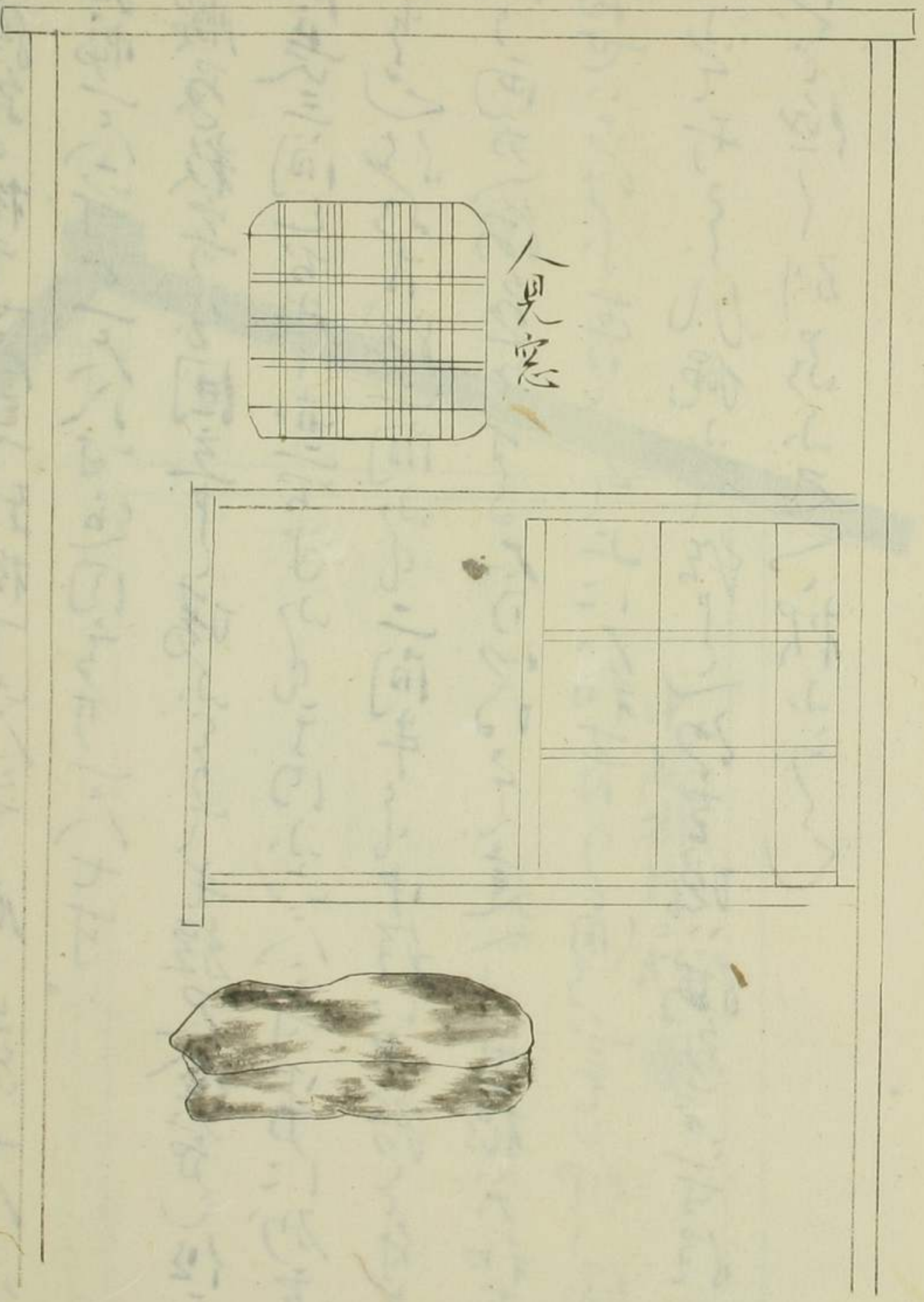
上り下り五分寸幅五分角五分寸五分  
五分五分角五分寸五分  
五分五分角五分寸五分  
五分五分角五分寸五分



位と指さし可いふたの講与のたのやく板二枚よるのこり  
 位と九ふりり増好入合方

一 同窓

中階階の窓の寸可九合窓の窓の寸可一尺二寸  
 と板二枚よるのこり八寸  
 木の窓せり、物ん窓の窓の板の寸可一尺二寸  
 においし心は所要也

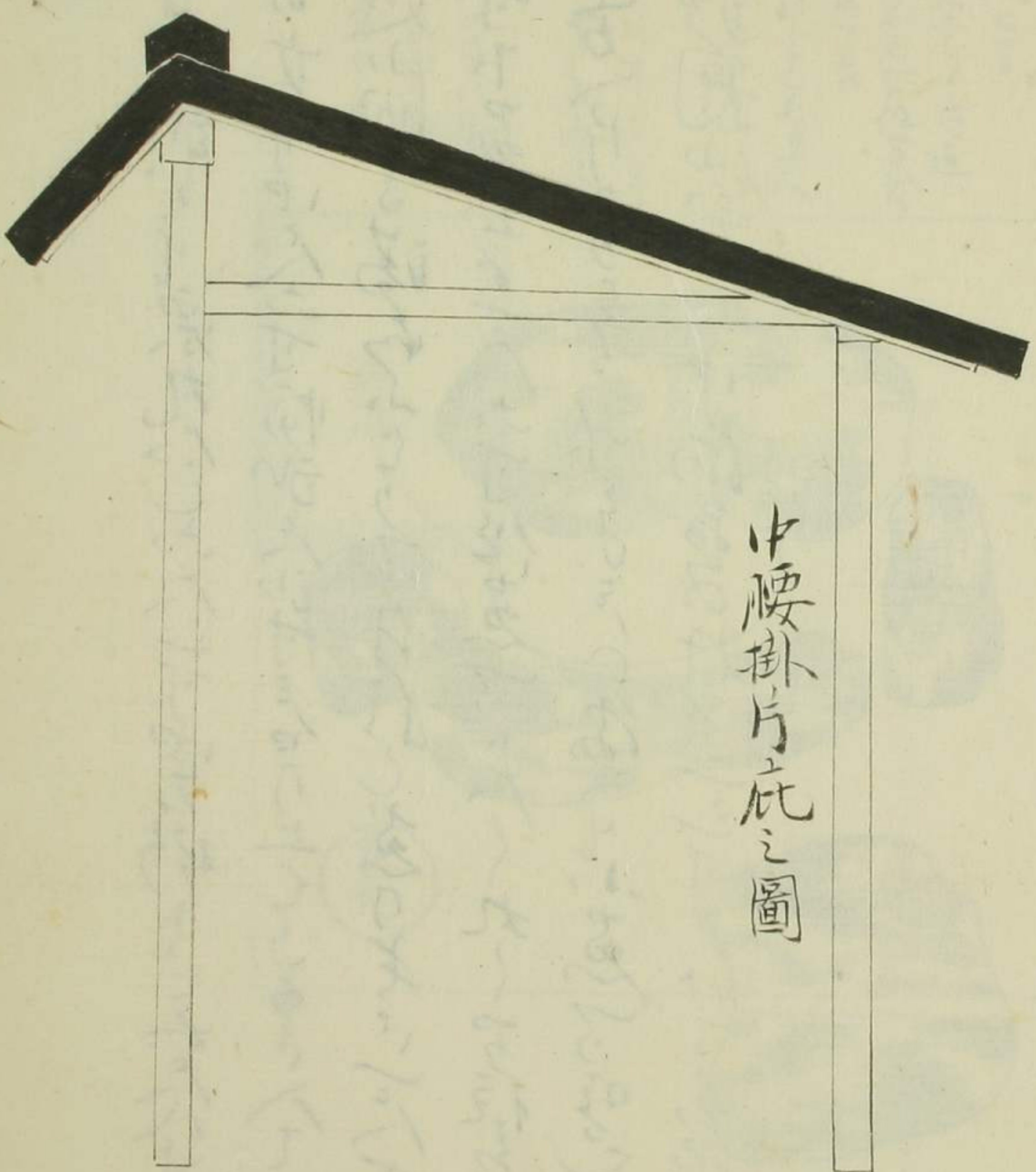


人見窓



一内腰象栂下七寸許軒栂下六寸許庇の出端七寸八分迄  
縁幅三寸五分八寸迄同さ九寸七分

石腰象数字を固立中し端ふらりてモ短尺合分は但斤  
庇長三間と半亦寸五分以内六寸四分に砂を隠  
成るははり木栂二間半も中程に中階を付し六  
段の両方の縁を付する石の心柱を建し一木根六和背の  
為せははり木栂の上にも和背の通し二寸半押縁を  
付し是れは八繩を付し砂を隠し海島を寸程ふ  
根を隠し別ふふとく栂ふらりて



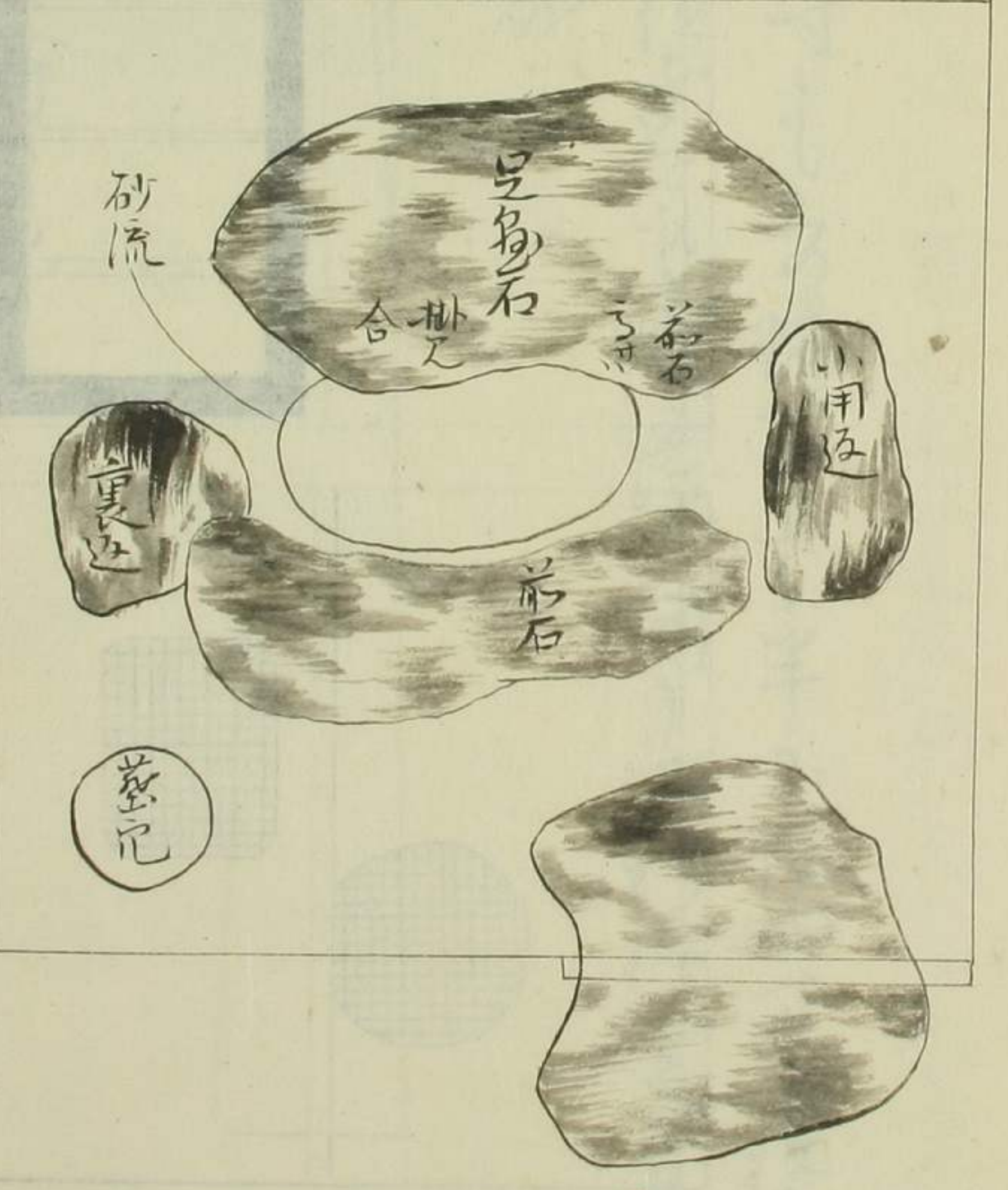
中腰掛片庇之圖



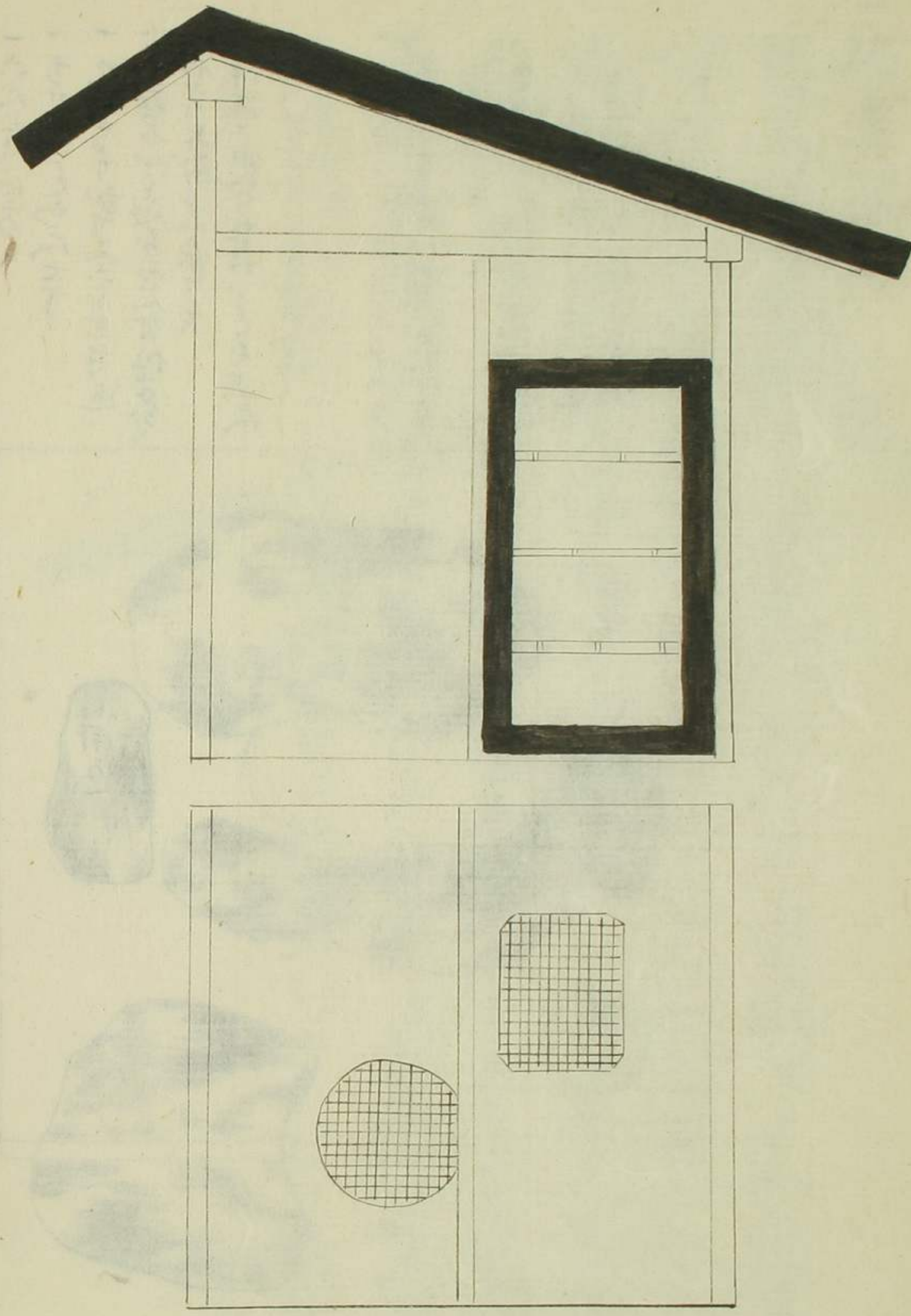
一 砂管徳

柱の太さ一寸五分即ち粟丸の太さ一寸四分、櫓下の太さ八寸九  
寸五分の太さより八寸五分幅の太さ三寸三分より五分より五分  
の太さ二寸五分幅の太さ一分より一分幅の太さ一分七分  
幅の太さ一寸五分幅の太さ一寸五分幅の太さ一寸五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ  
五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ五分幅の太さ

- 一 六八三寸四寸
- 一 七寸行口寸七寸
- 一 花石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分
- 一 呈石三寸五分又六寸五分

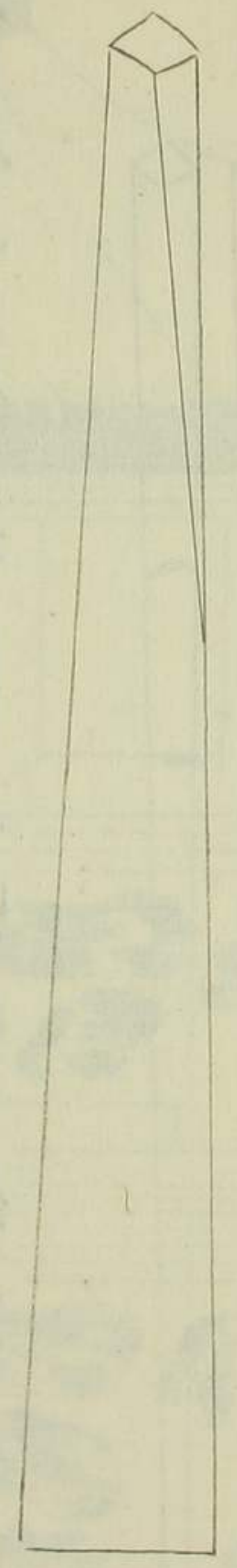






一 束杖板

其寸一尺九寸二分 此寸一尺九寸二分 其幅一寸一分半 下幅或寸八分 板厚  
 寸六 此寸一尺九寸二分 但面を以て末を削り 木は杉也 又寸一尺  
 此寸一尺九寸二分 此寸一尺九寸二分



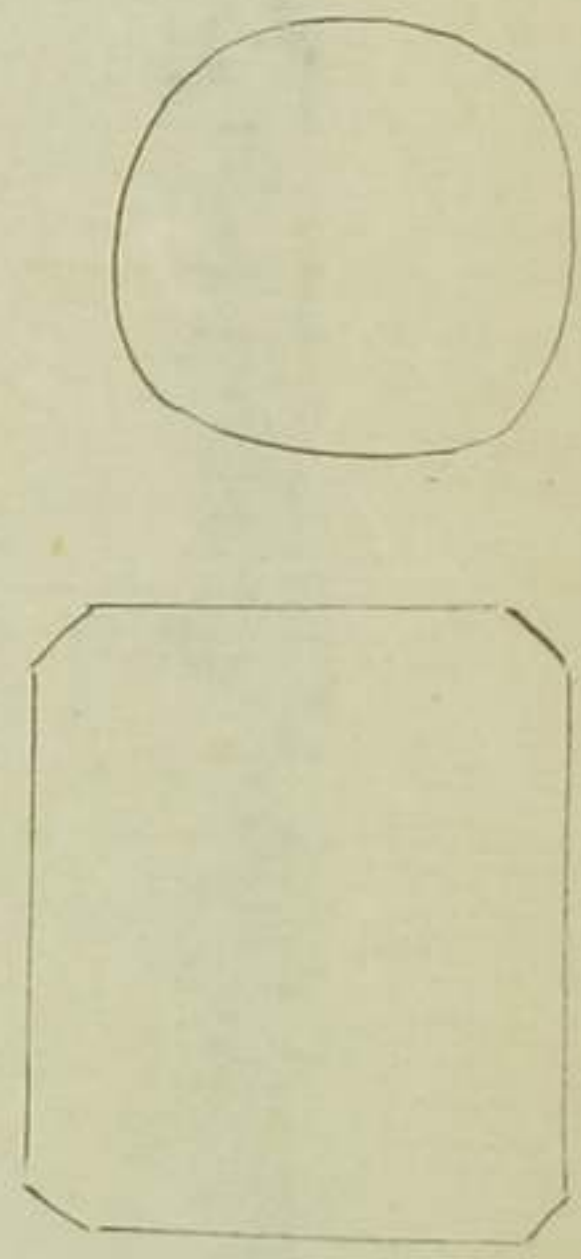
一 蓋板

其寸一尺九寸二分 此寸一尺九寸二分 其幅一寸一分半 下幅或寸八分 板厚  
 寸六 此寸一尺九寸二分 但面を以て末を削り 木は杉也 又寸一尺  
 此寸一尺九寸二分 此寸一尺九寸二分



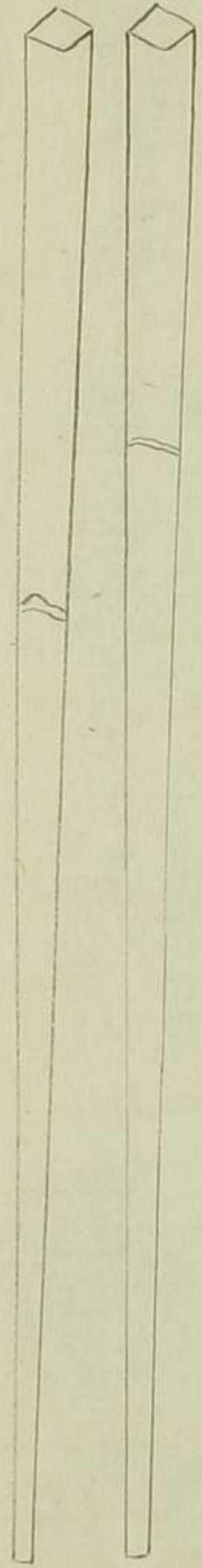
一 臺者

其可下八寸分可下五分細丸く部と守日五分但御堂五分迄二割

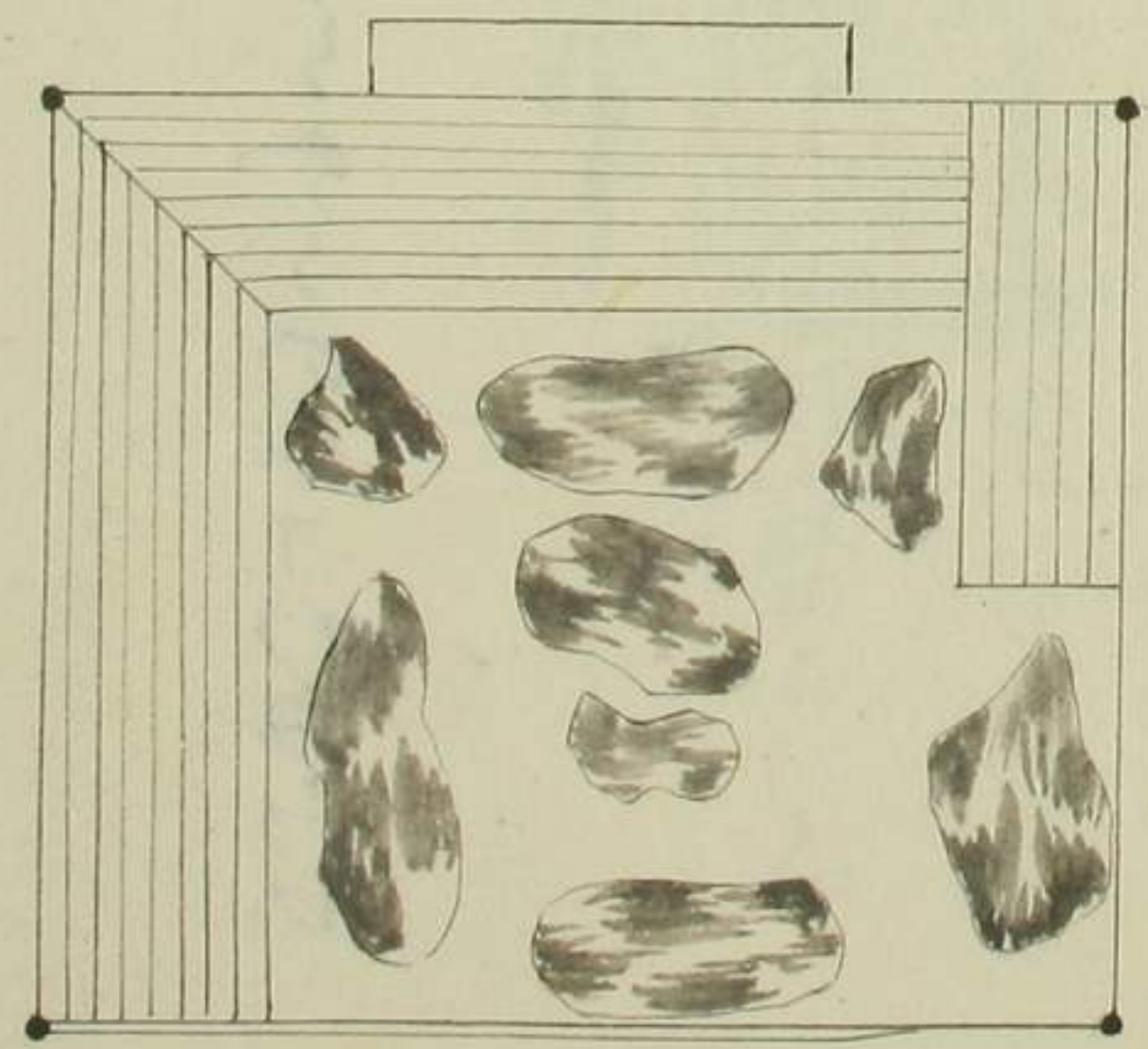
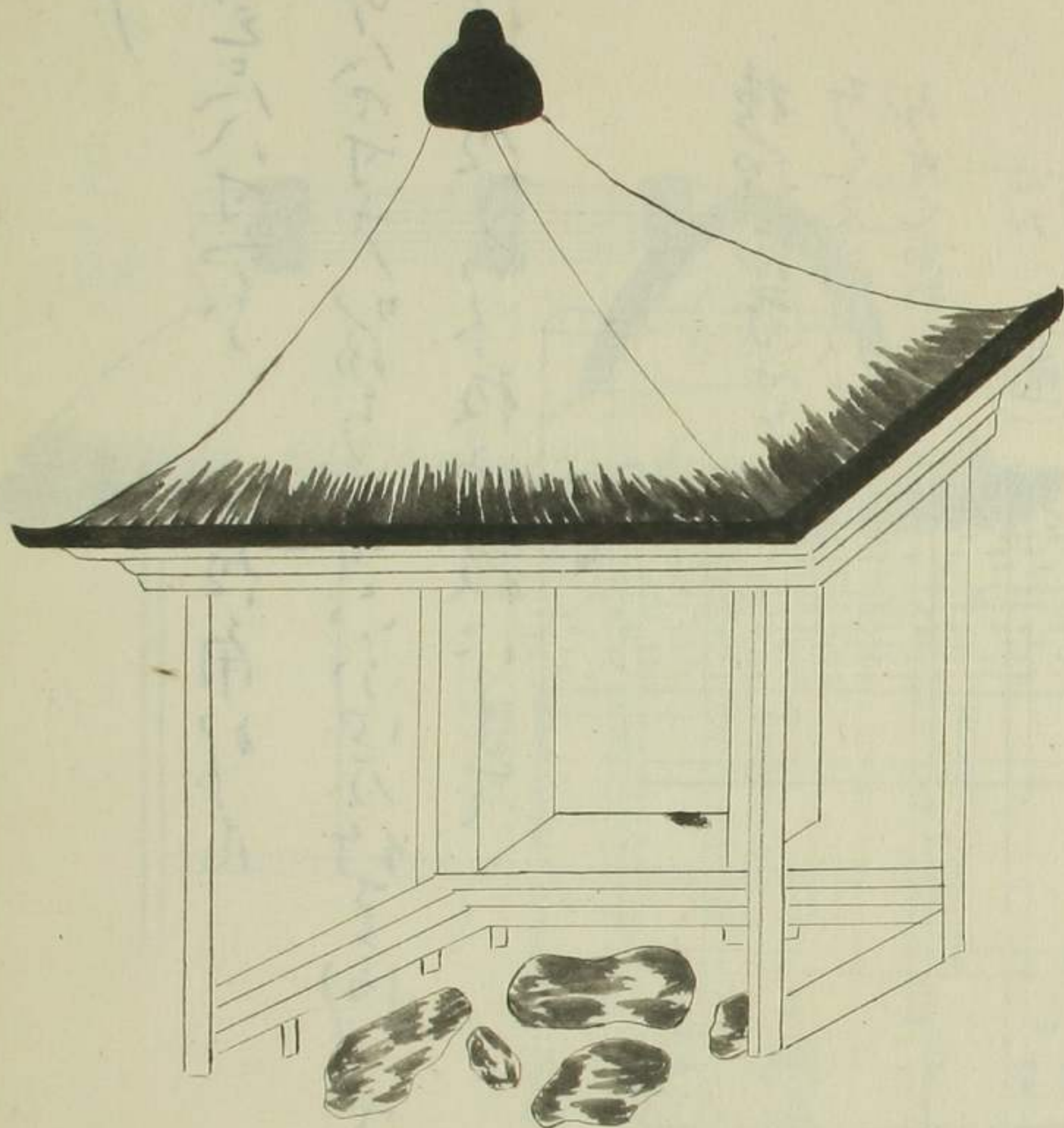


一 坐腰也

九尺四方に建する所キヤウ作り之方、腰掛(七寸一七八寸幅一人  
守折口七寸分丸居草草(一)万、お目後(一)寸、床(一)寸、付(一)寸  
底(一)床、長(一)尺、三寸、高(一)尺、九寸、降(一)尺、三寸、板(一)床



少古子不佛令御所を更之坐中に飯籠を納中、お合合  
御所不折中(一)





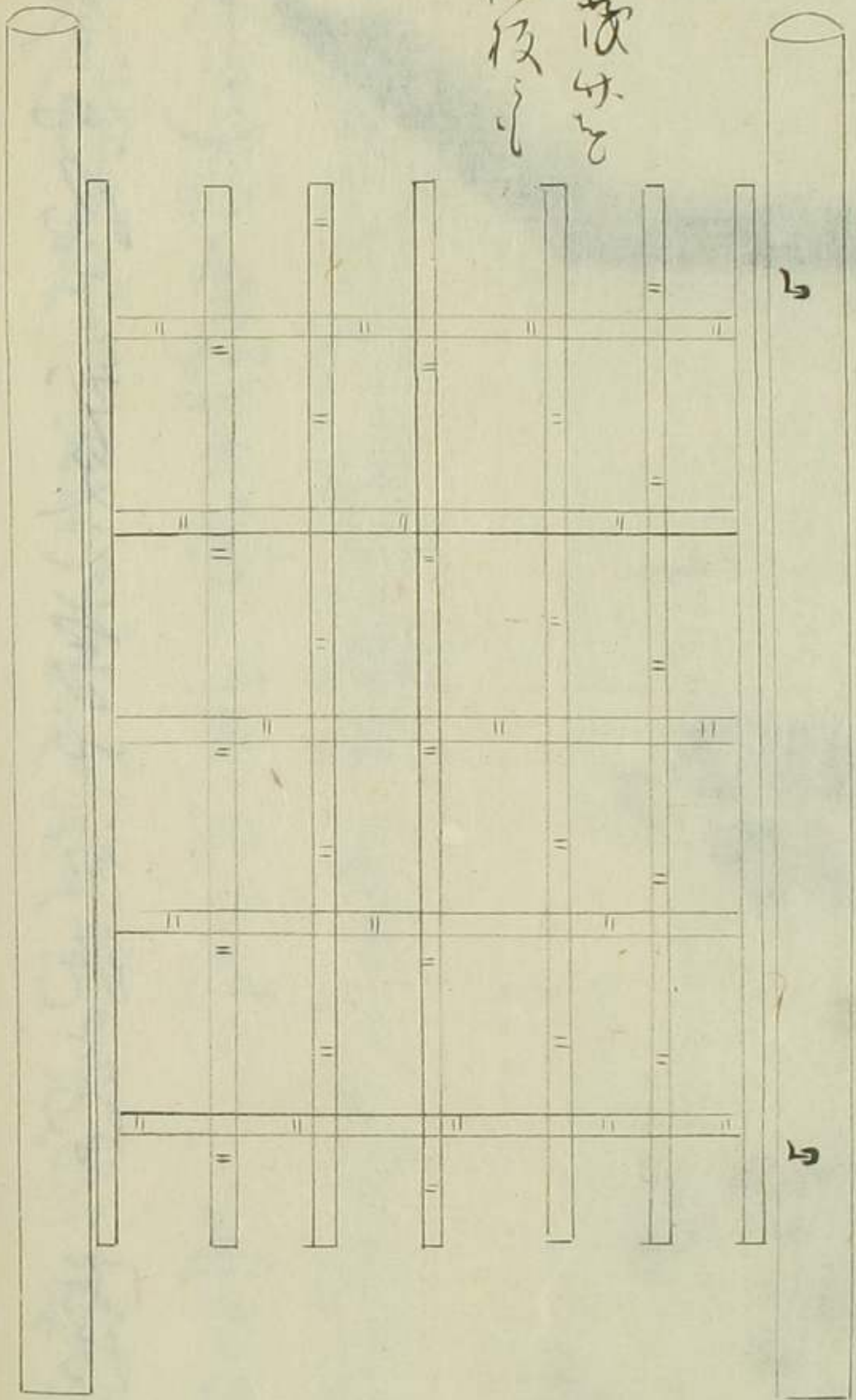
一俵

高九尺八寸五分

但角は凡

物置人四寸六分、かつらに可い、四方竹、角、八寸五分、の、た、可、の、每、ら、の、  
け、い、板、の、使、ふ、板、に、使、に、し、て

横柄  
竹葉を  
折、又、竹、板、を  
用、ひ、し



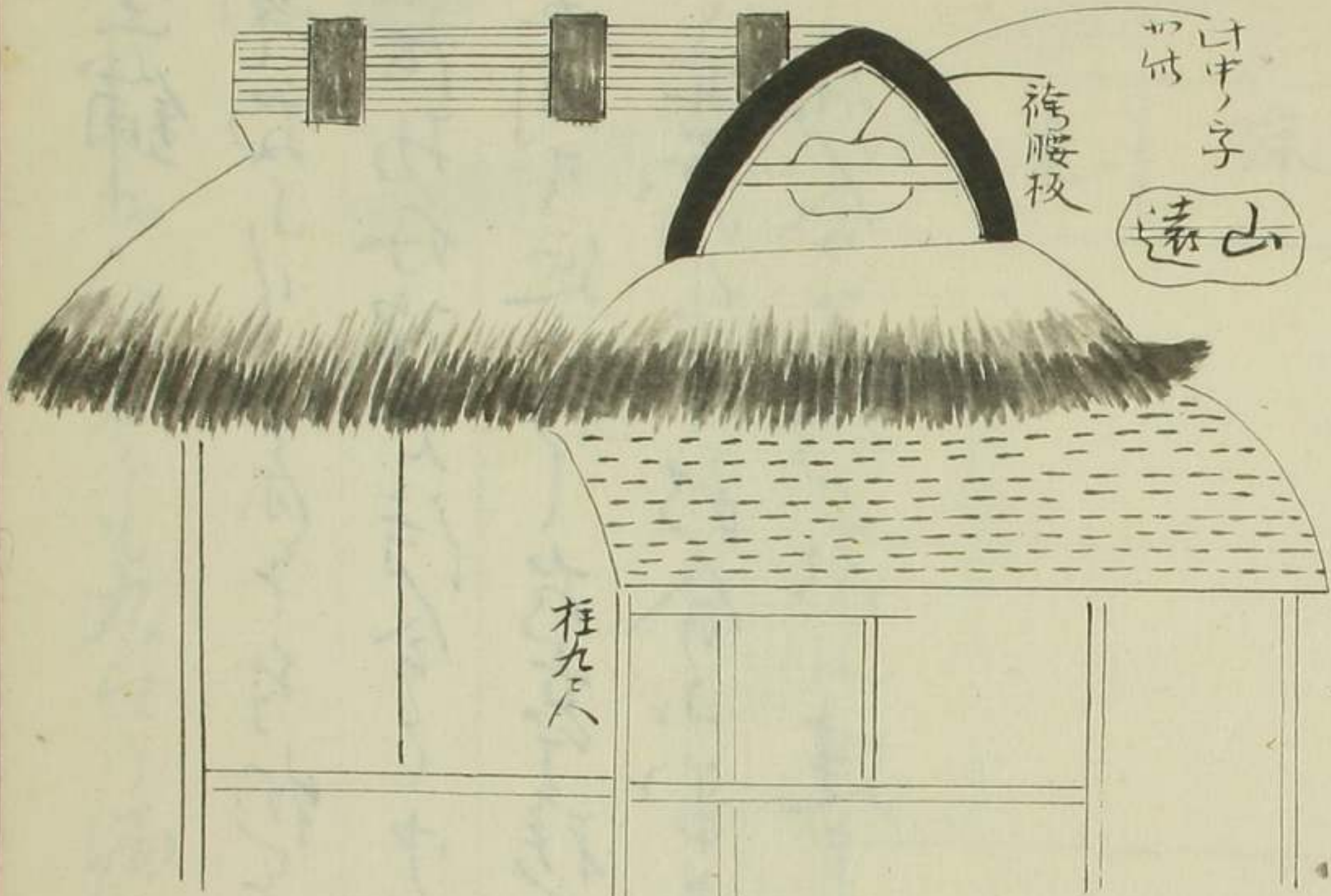
一額腰掛

但袴腰は云

幅九寸五分

厚五分

尺合



寸中子  
四寸  
袴腰板  
山

柱九尺

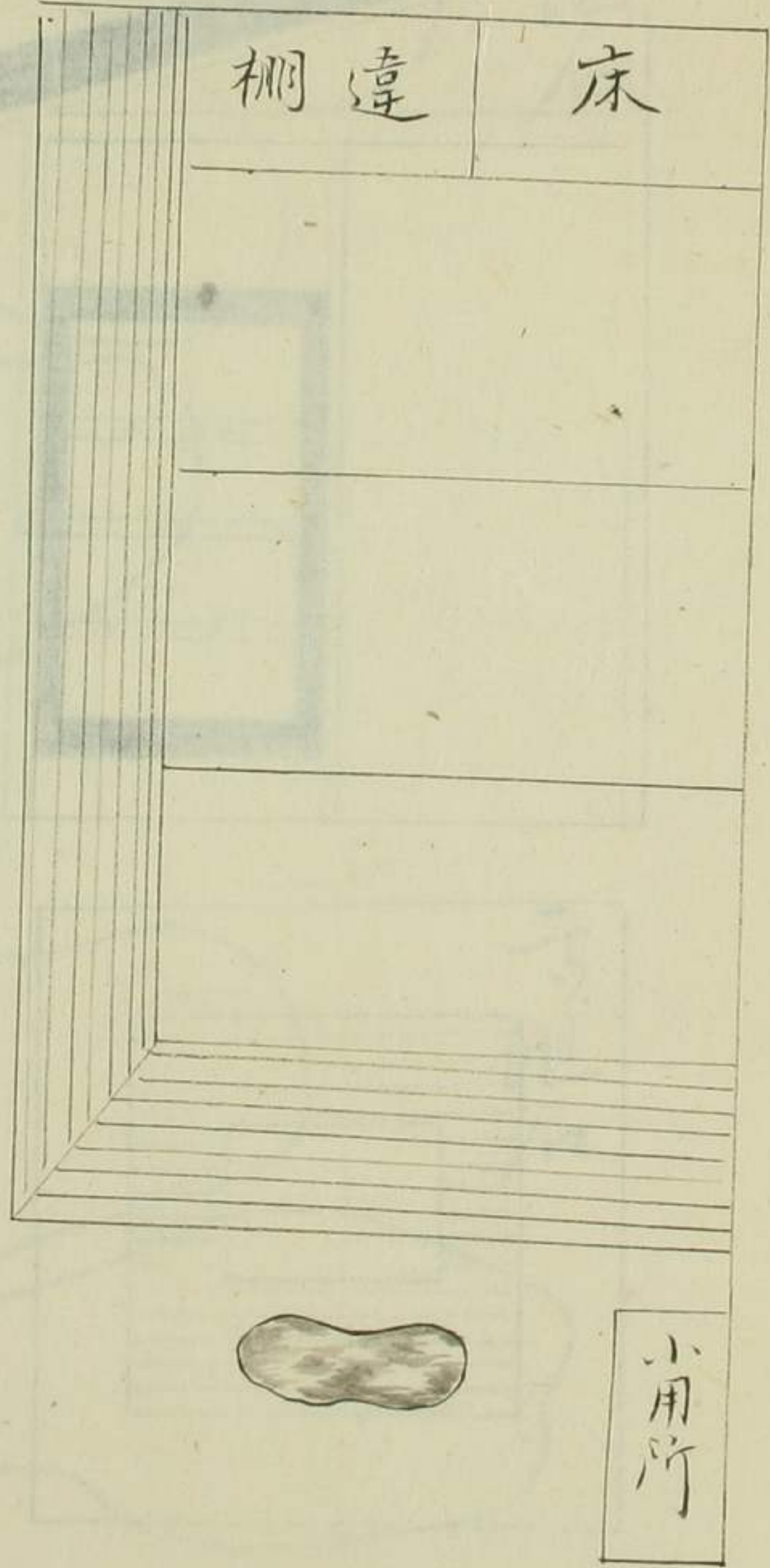
- 一柱柳上端迄九尺九寸
- 一かくら七寸五分程
- 一破風貫上端一尺一寸五分
- 一破風下六寸五分、底の上にて
- 二つ作り



一待合小坐鋪

之五寸口身幅より小床を舟柄を飾り料紙硯敷中  
 併し住居功好功身待合と中階の間に二間半二間程  
 小坐五間を延びしお古手移移迄くたてられし  
 中へ書院外へ待合小坐とて遠近場あり  
 等へ待合と別家小建中へてし可有是也

待合小坐敷と着

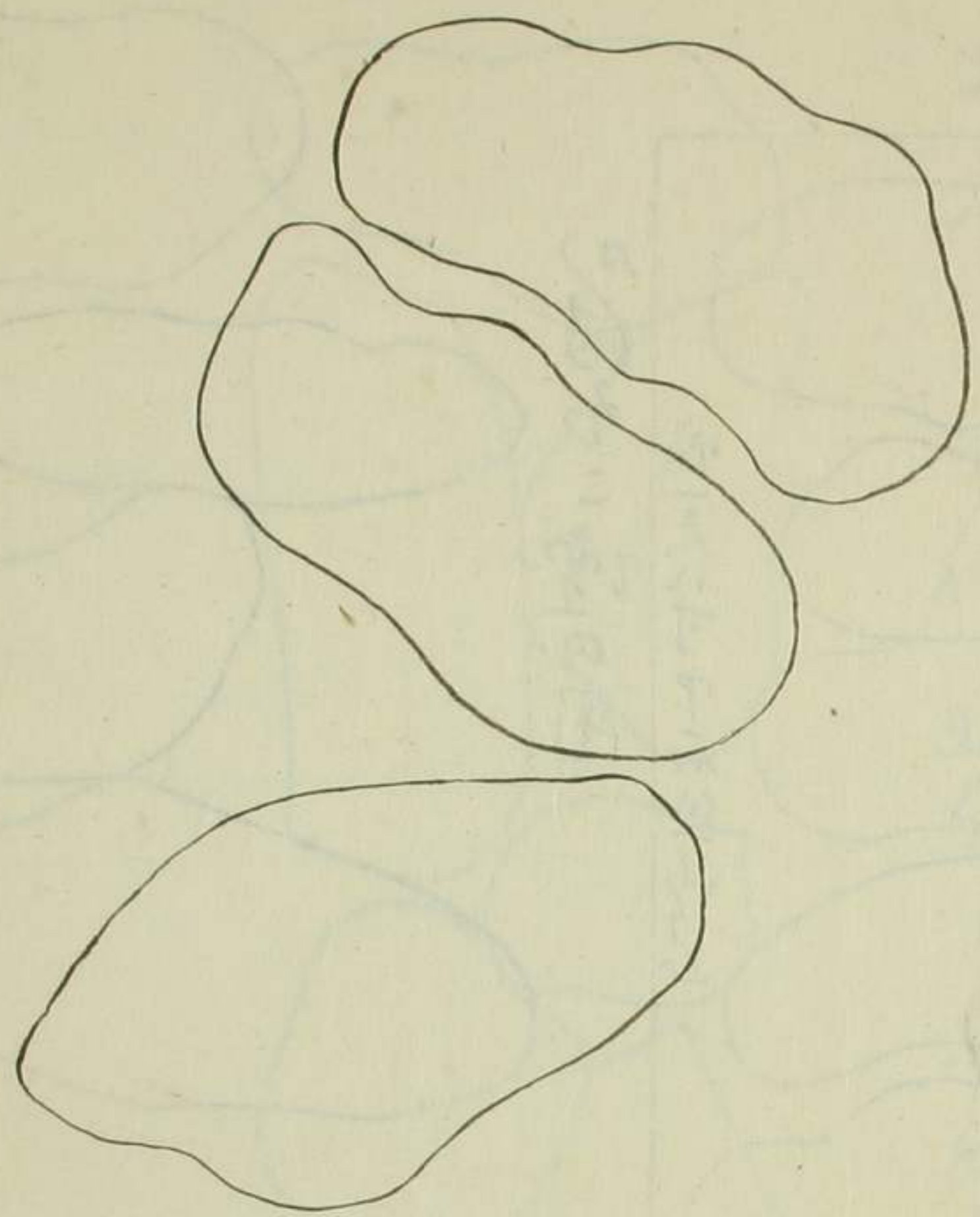


一下腹雪隠

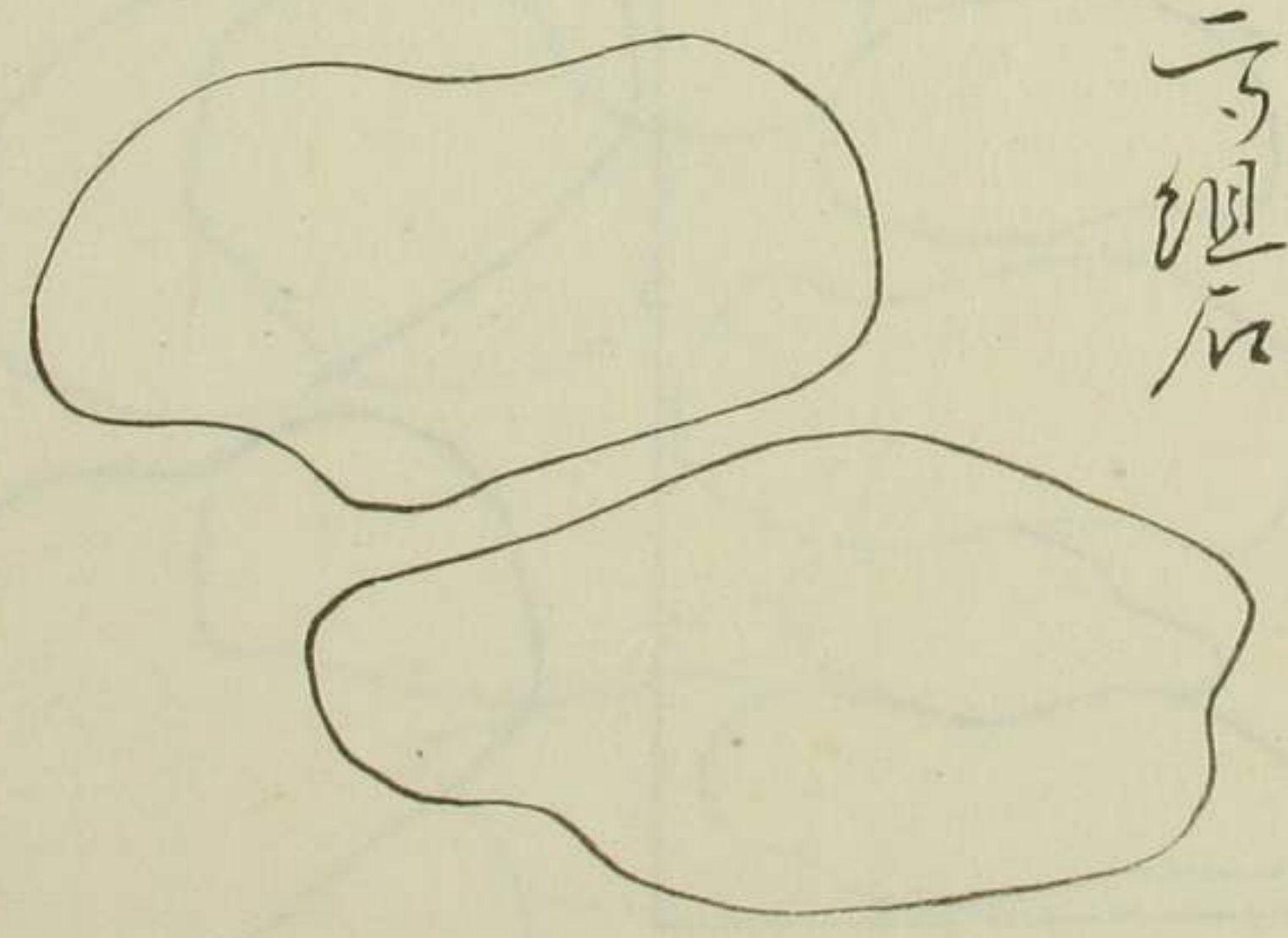


六尺五寸口身又五尺四寸口身丸口下腹雪隠之入りに

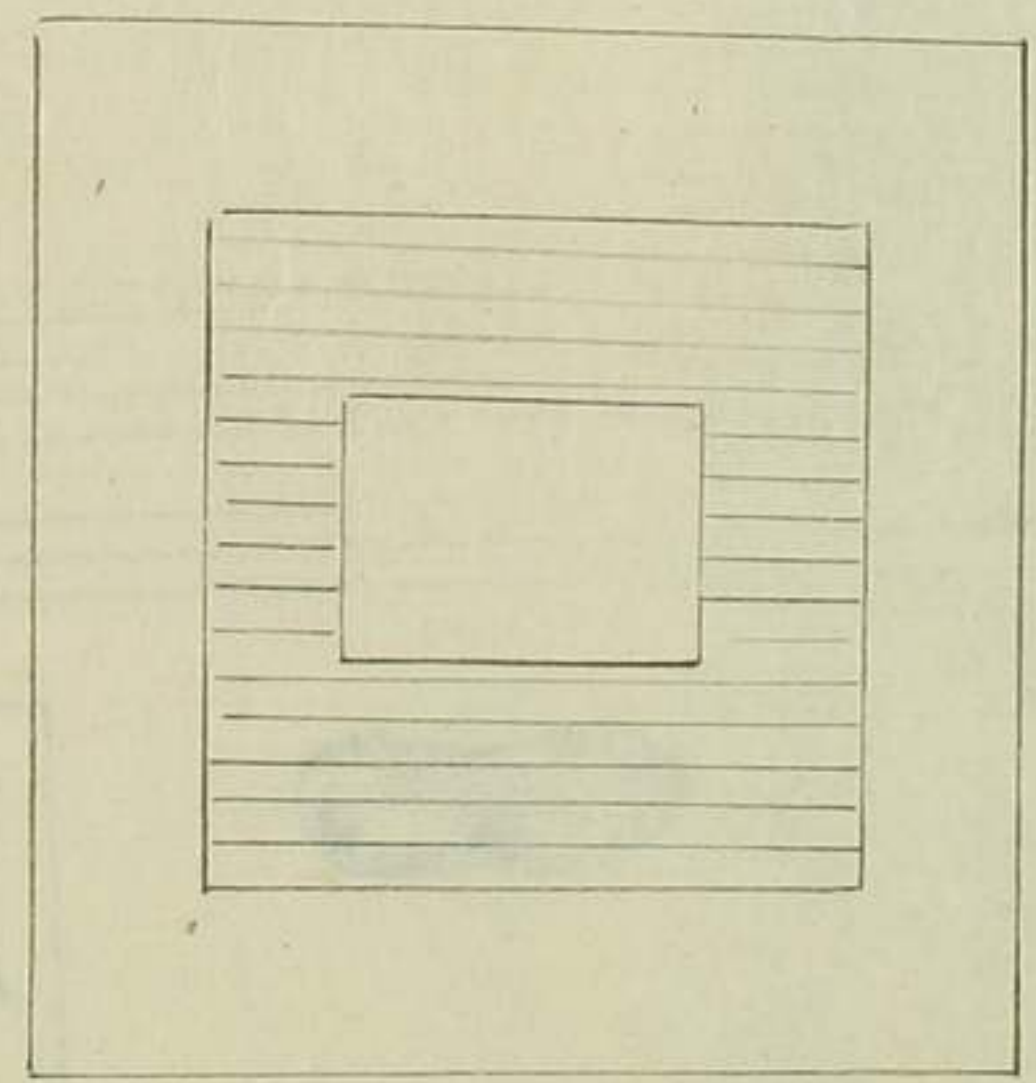
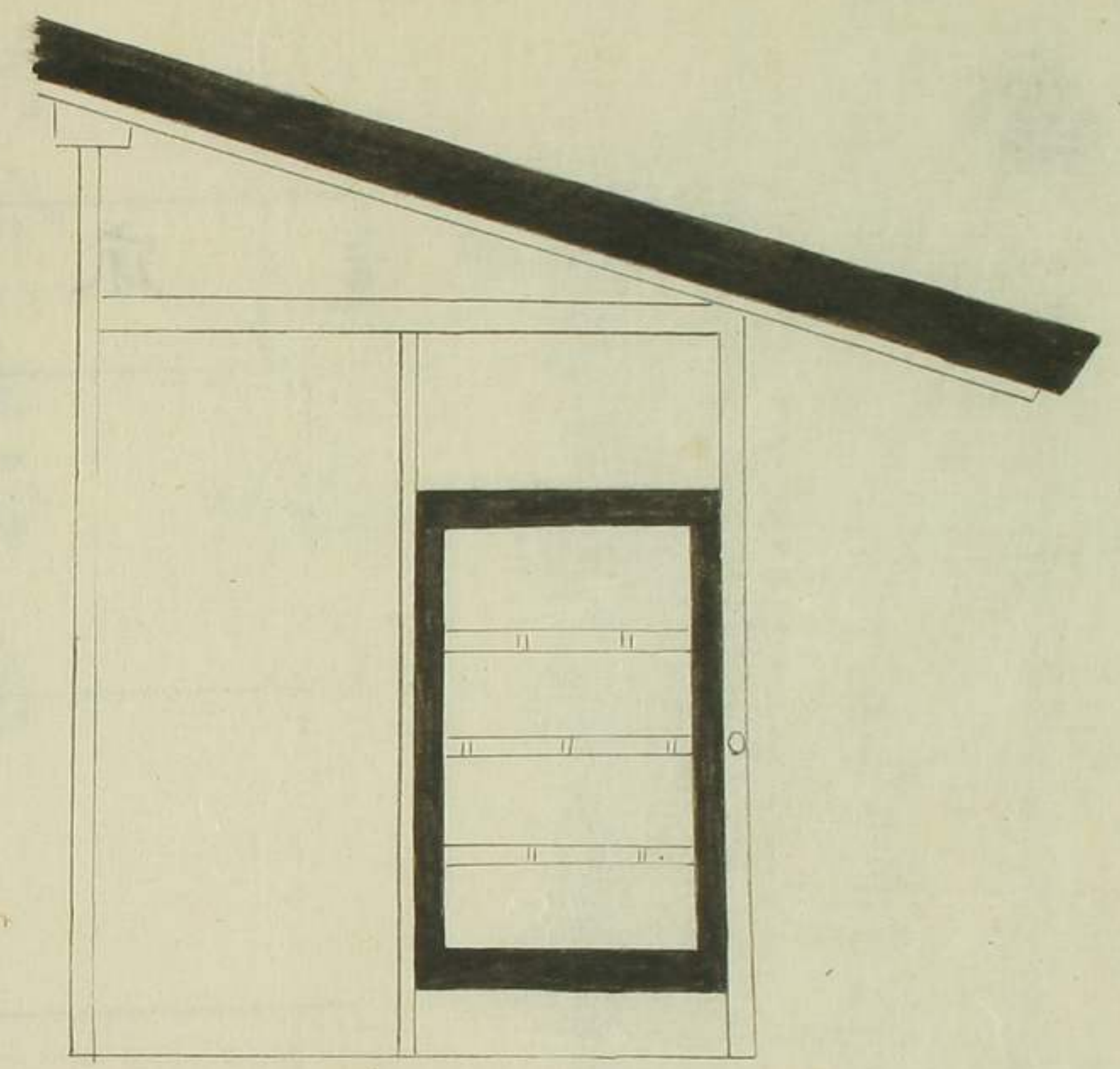




三石

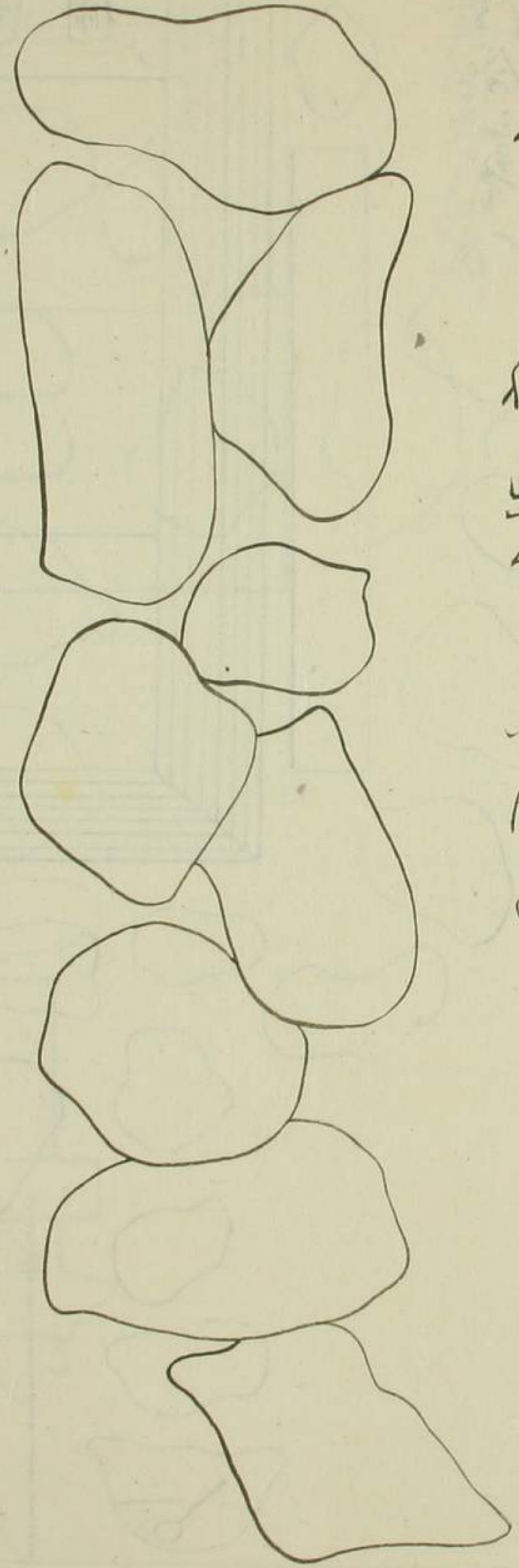


三石

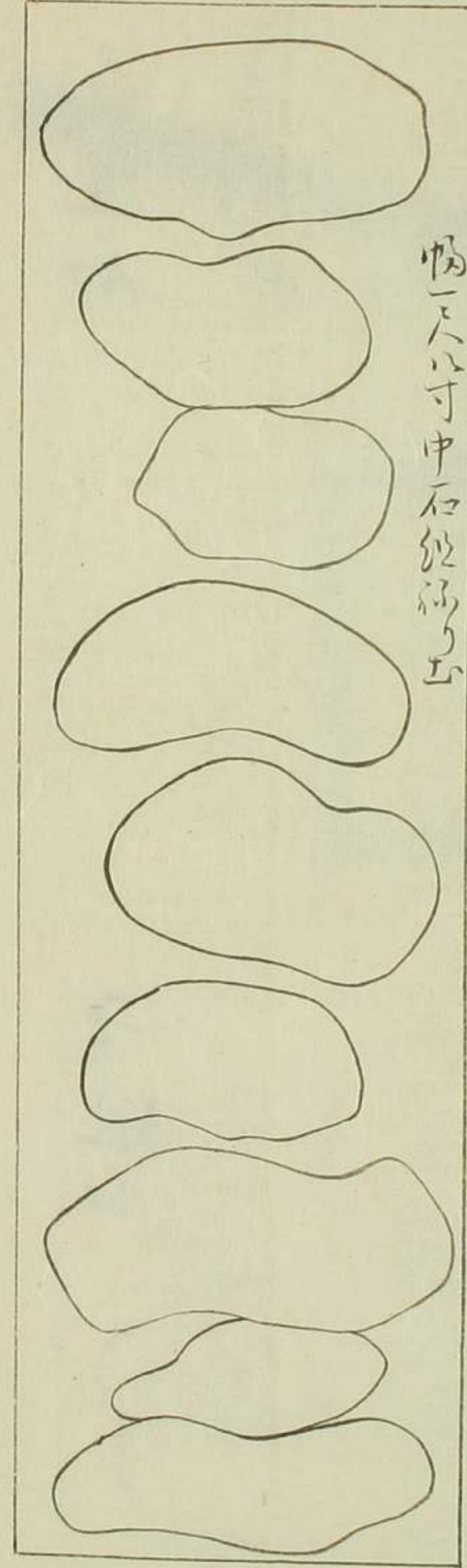


三石の石の幅九寸五分、高さ一尺七寸五分、石の重さ

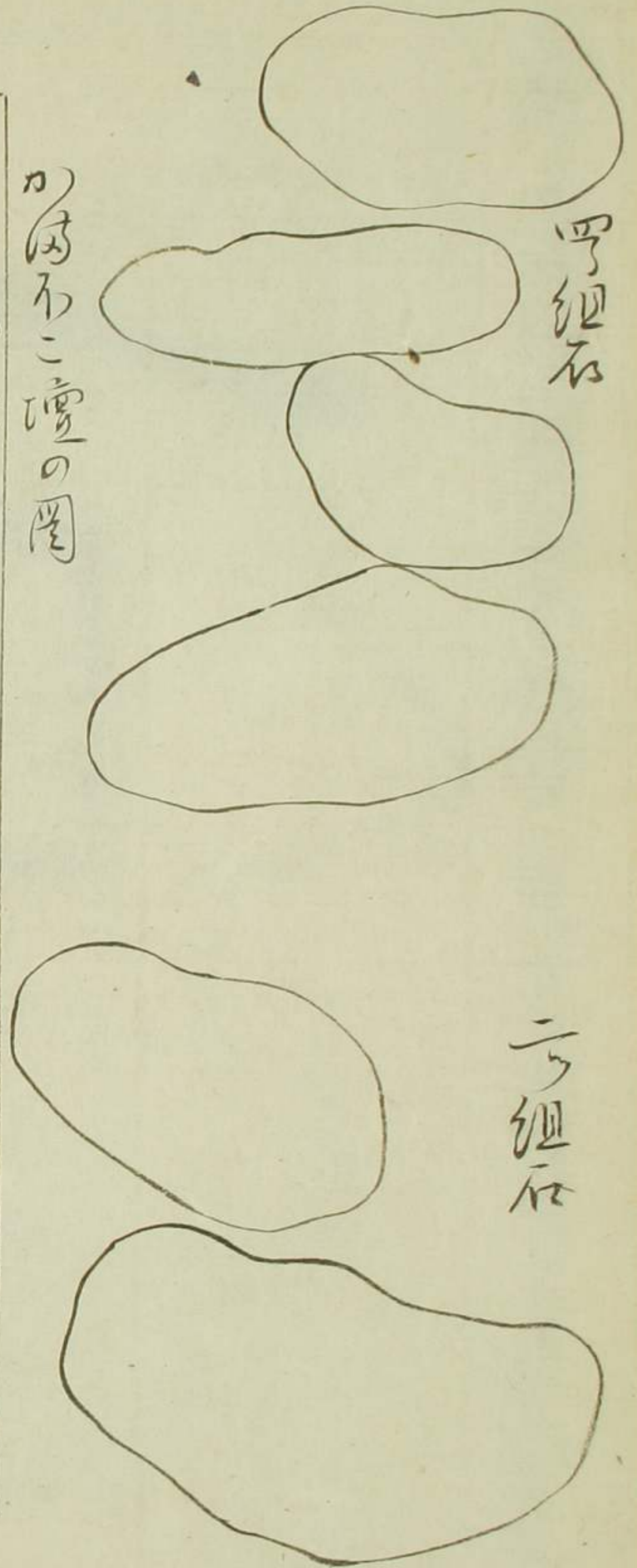




石名のしほり出のしほり



幅二尺八寸中石並列の図

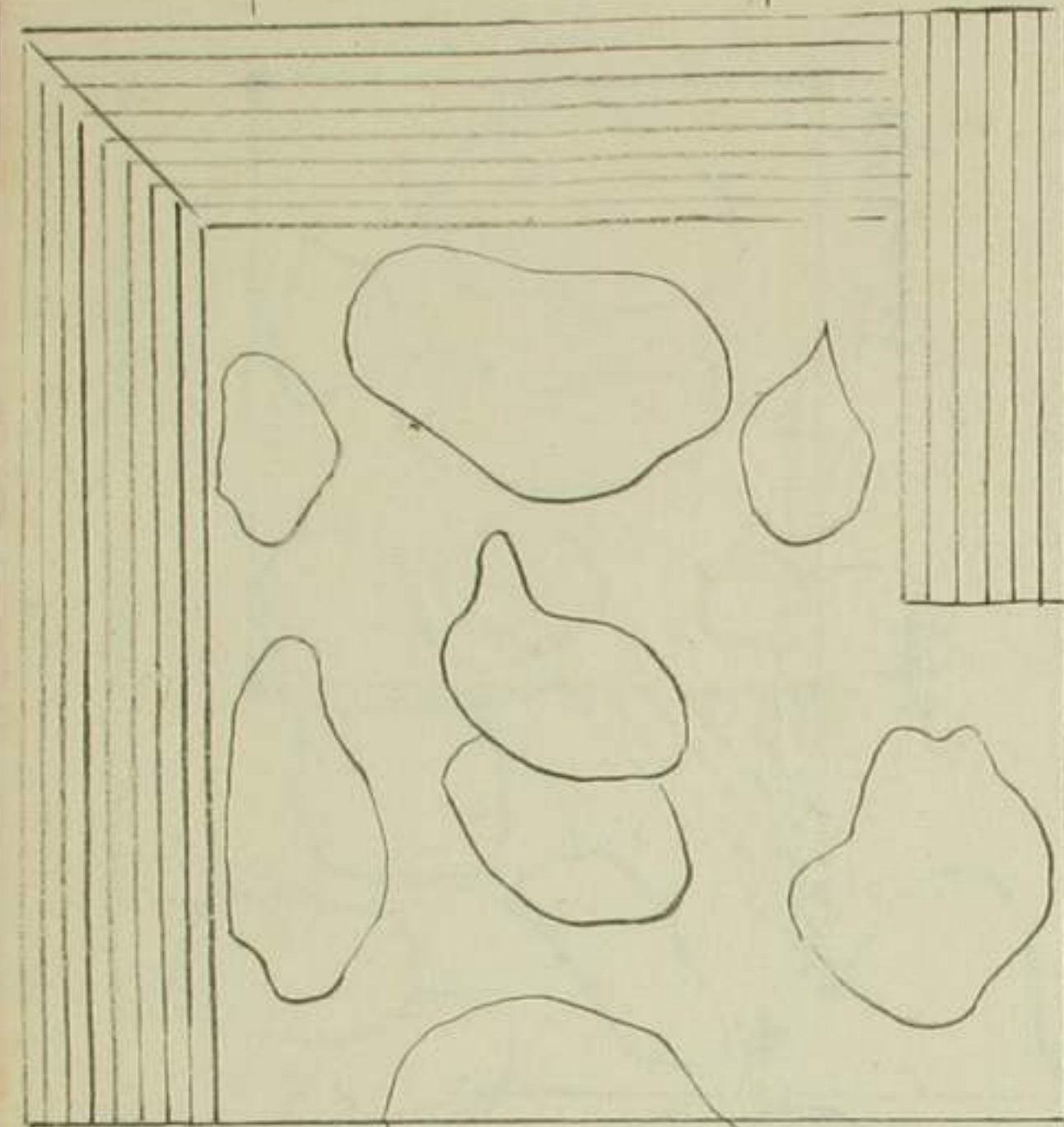


四組石

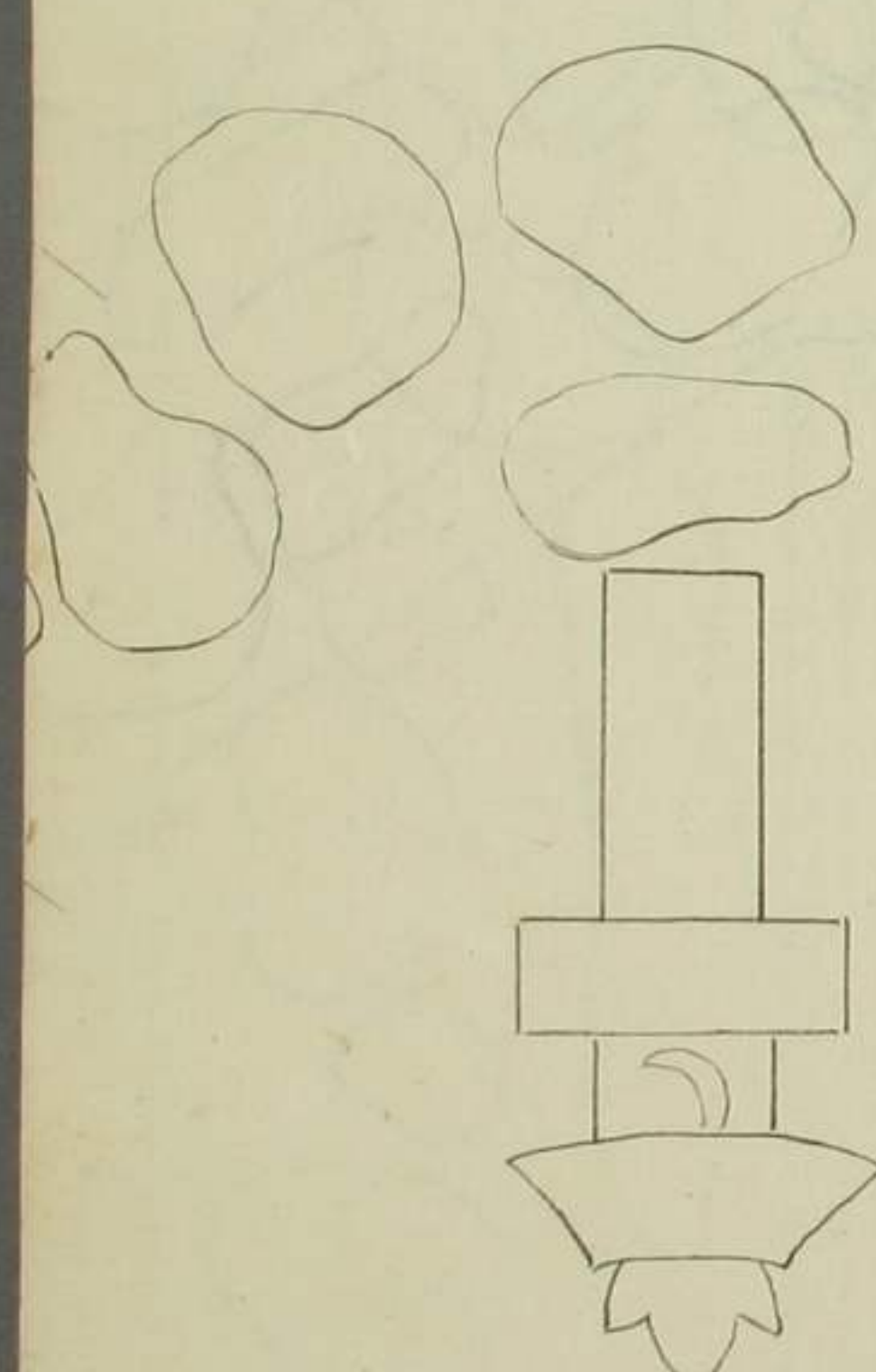
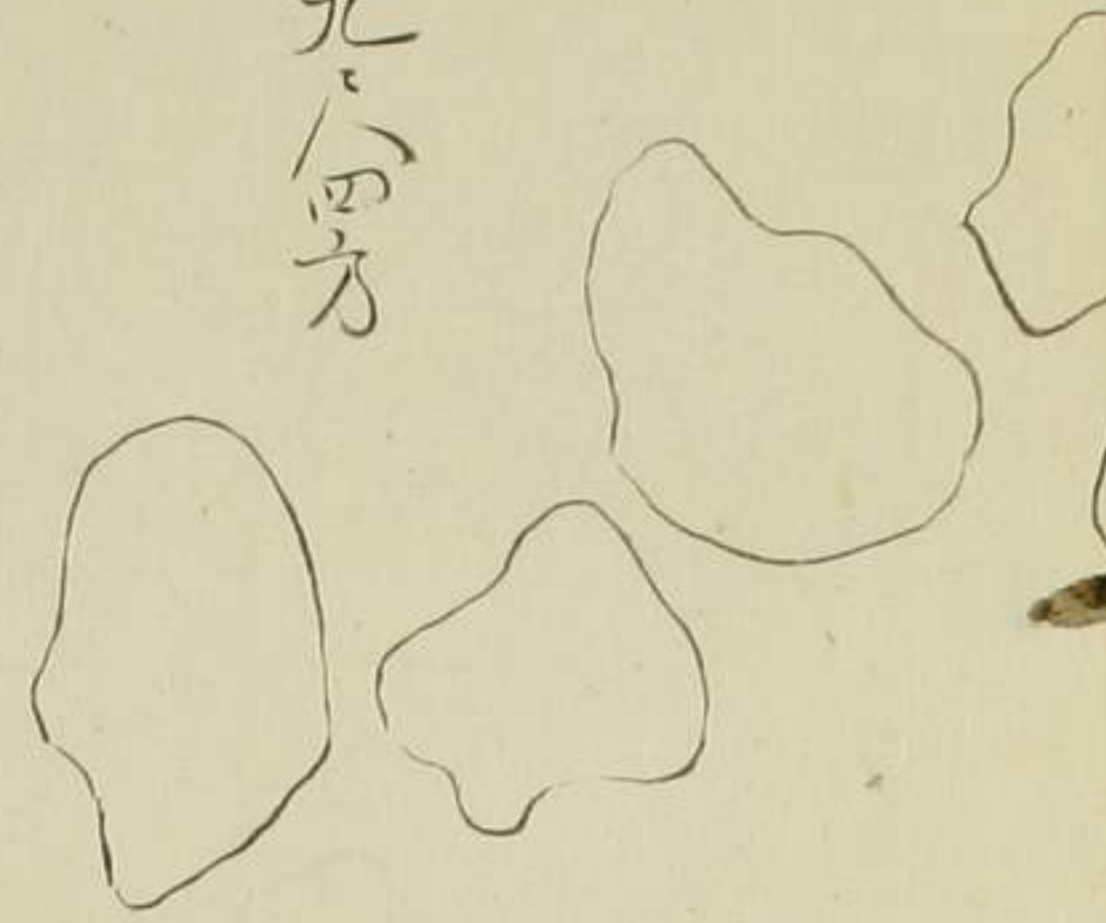
二組石



床



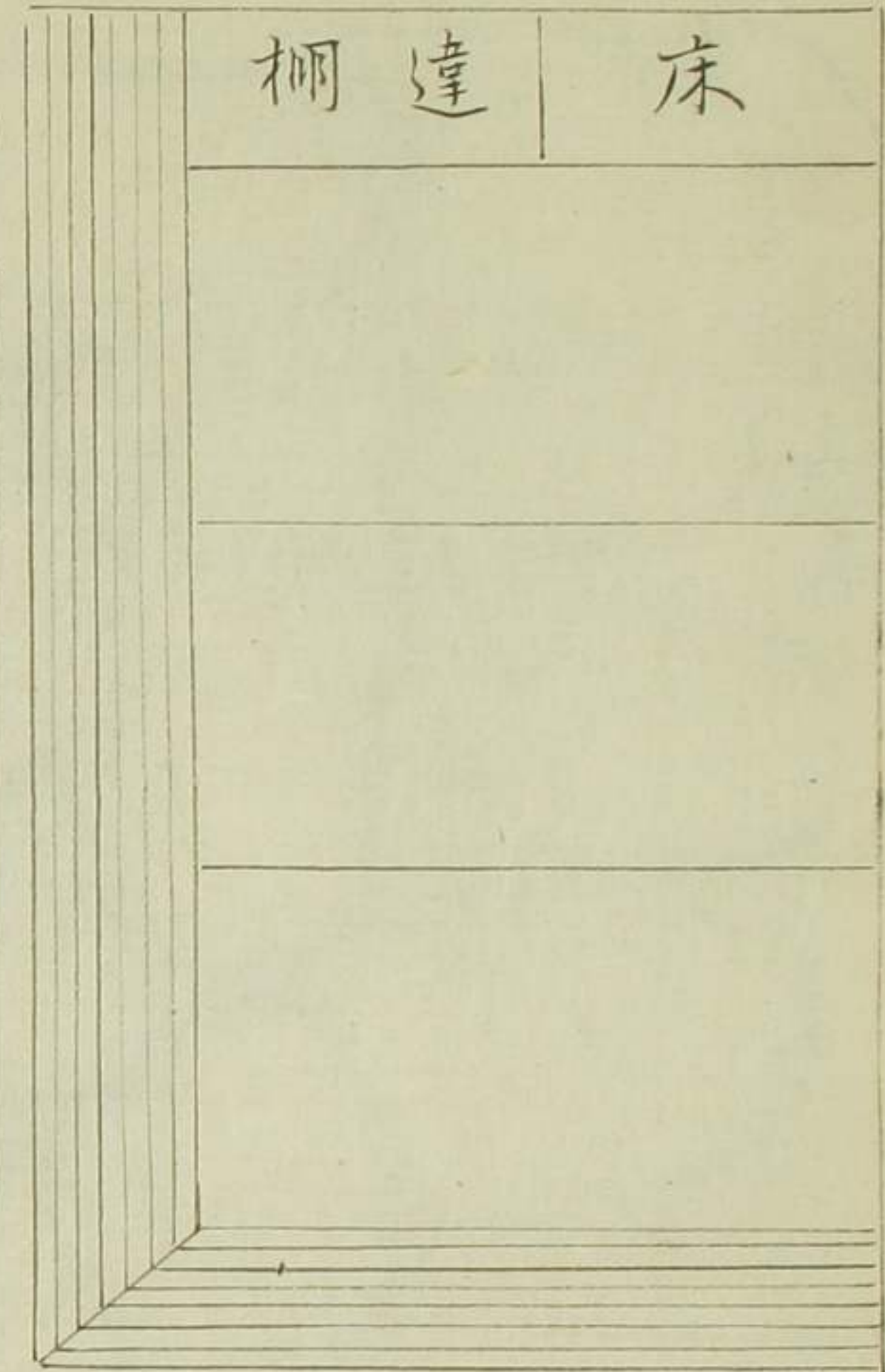
堂腰掛九分方



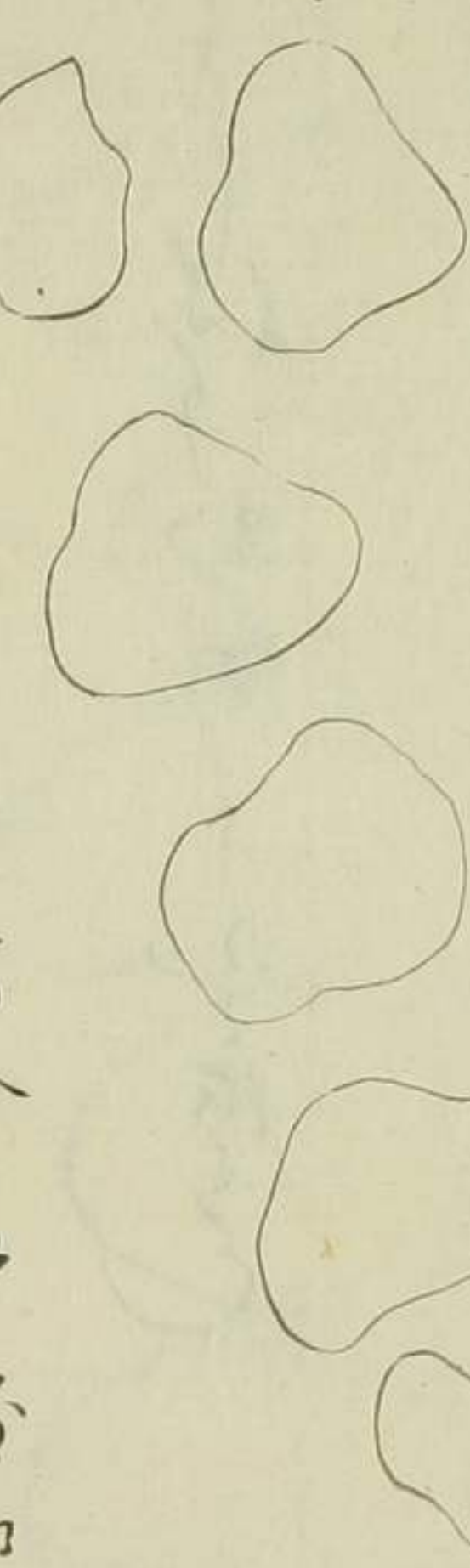
法合之  
石配  
置



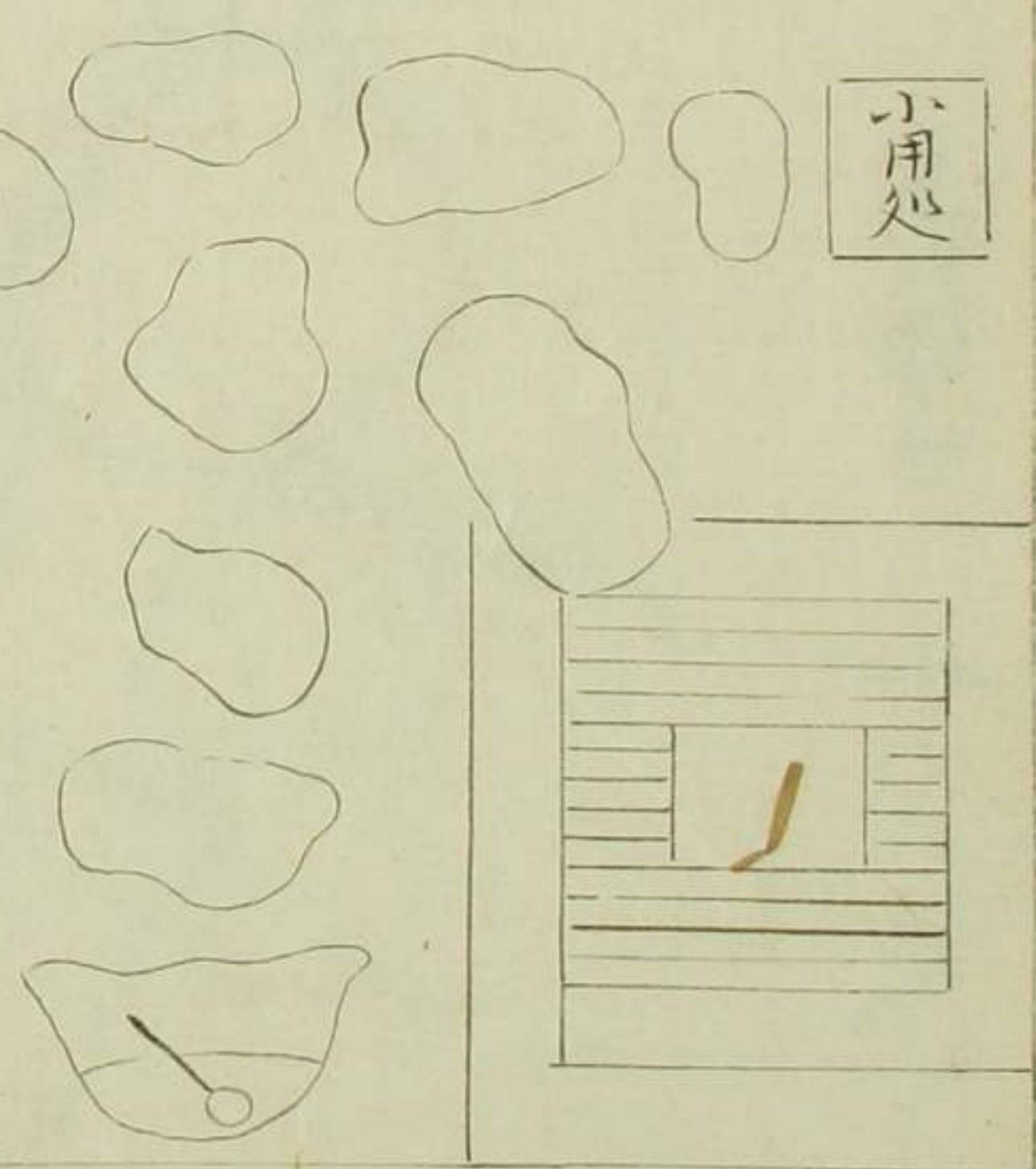
棚 達 | 床



法合之石配の置

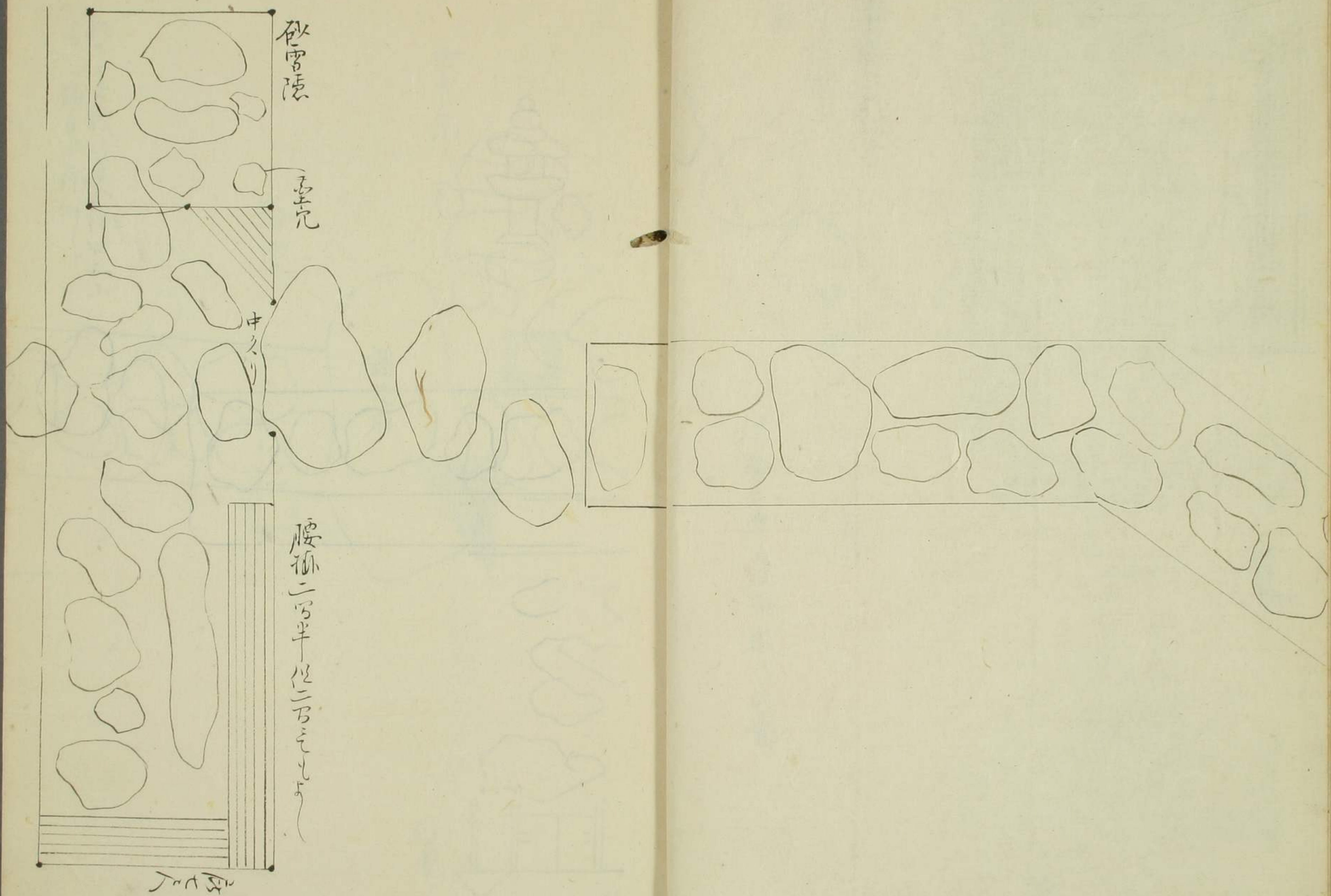


小窓



下腰雪隠





砂置張

五斗

中ノリ

腰板二万半位三万七千

入付

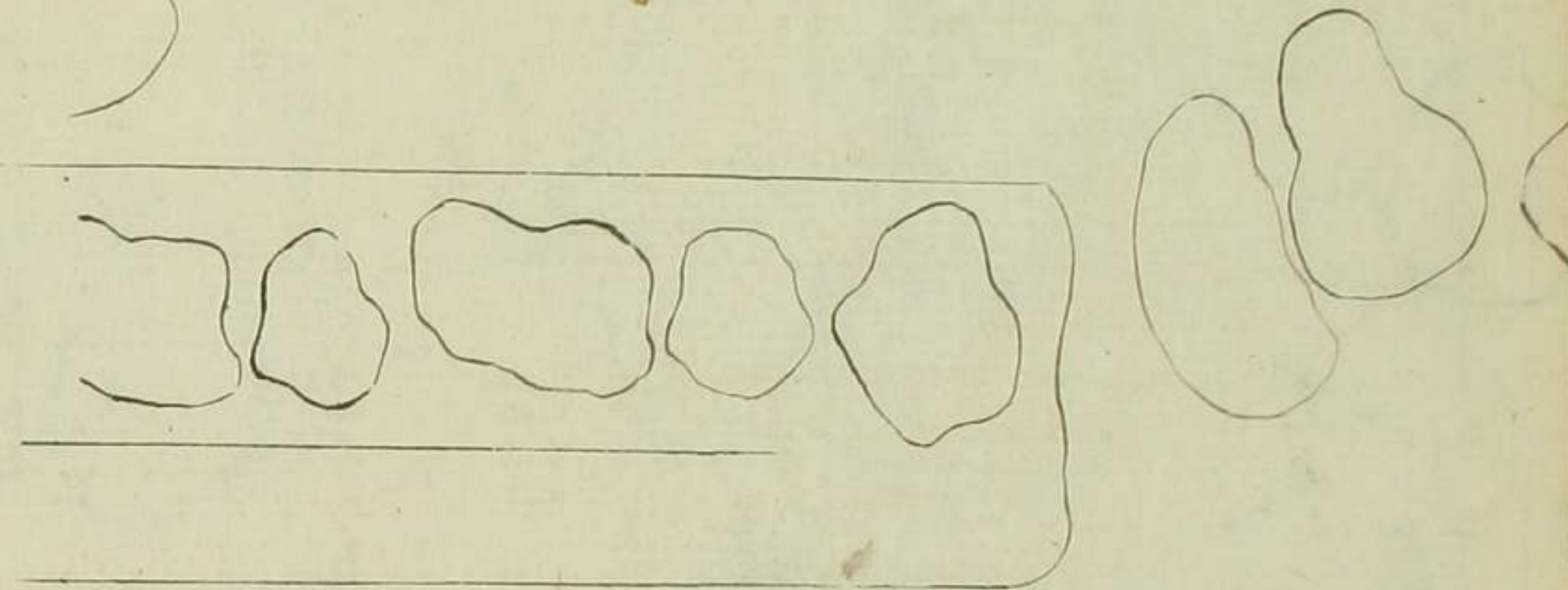
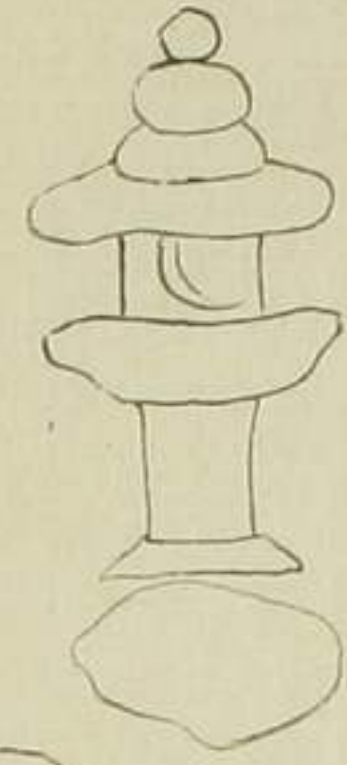
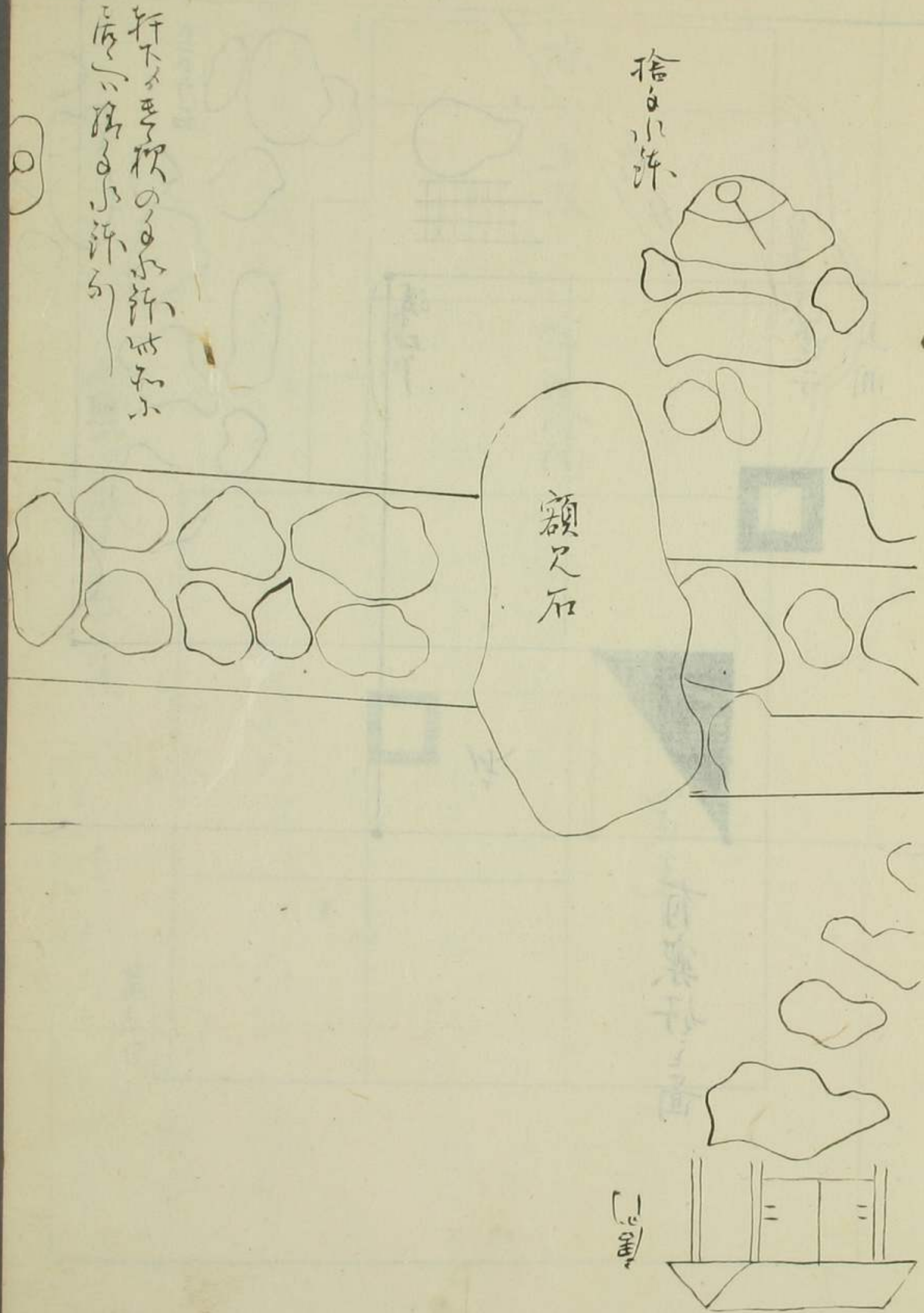


軒下より柳の葉を採りて  
庭に散らし置る

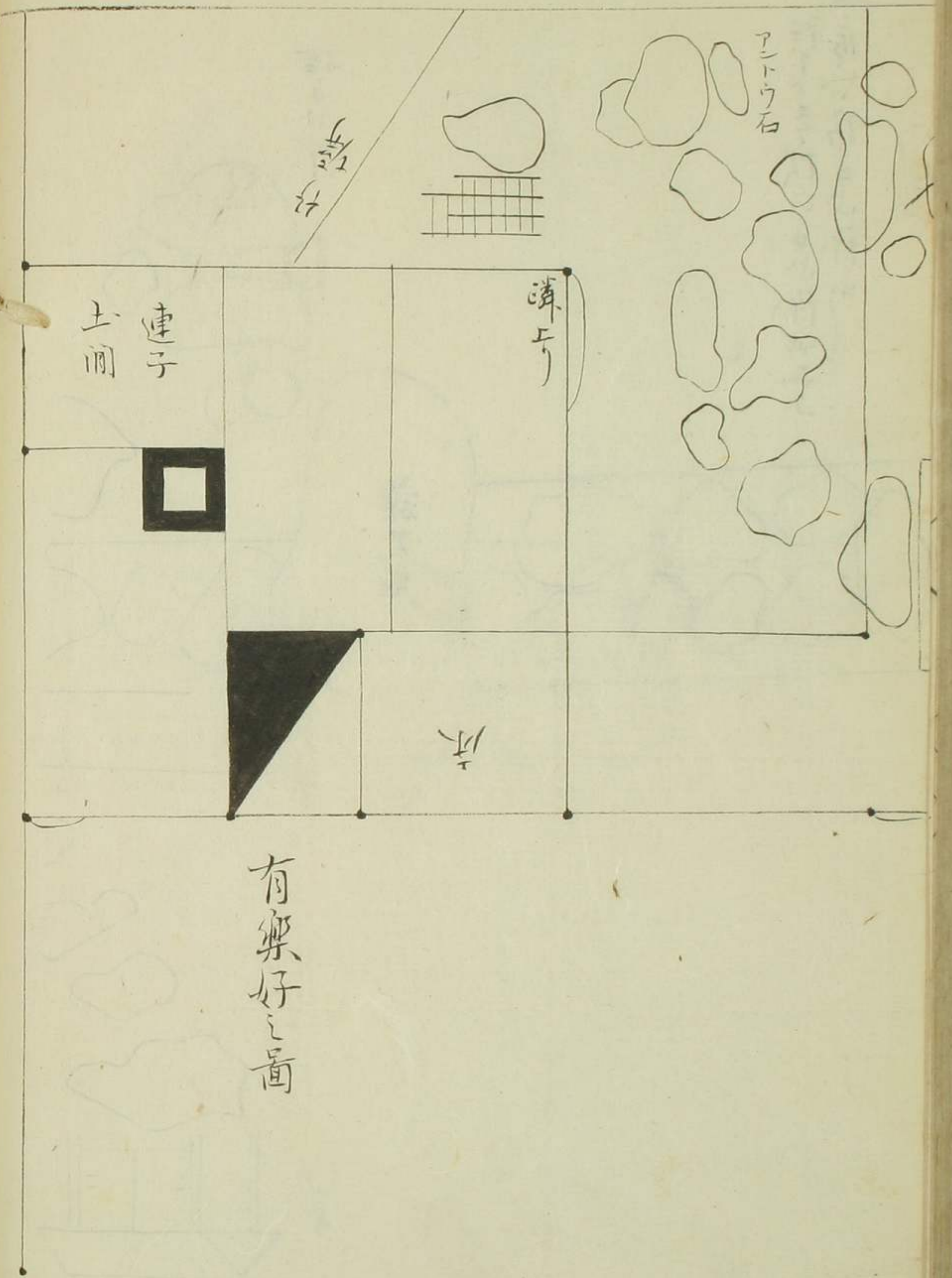
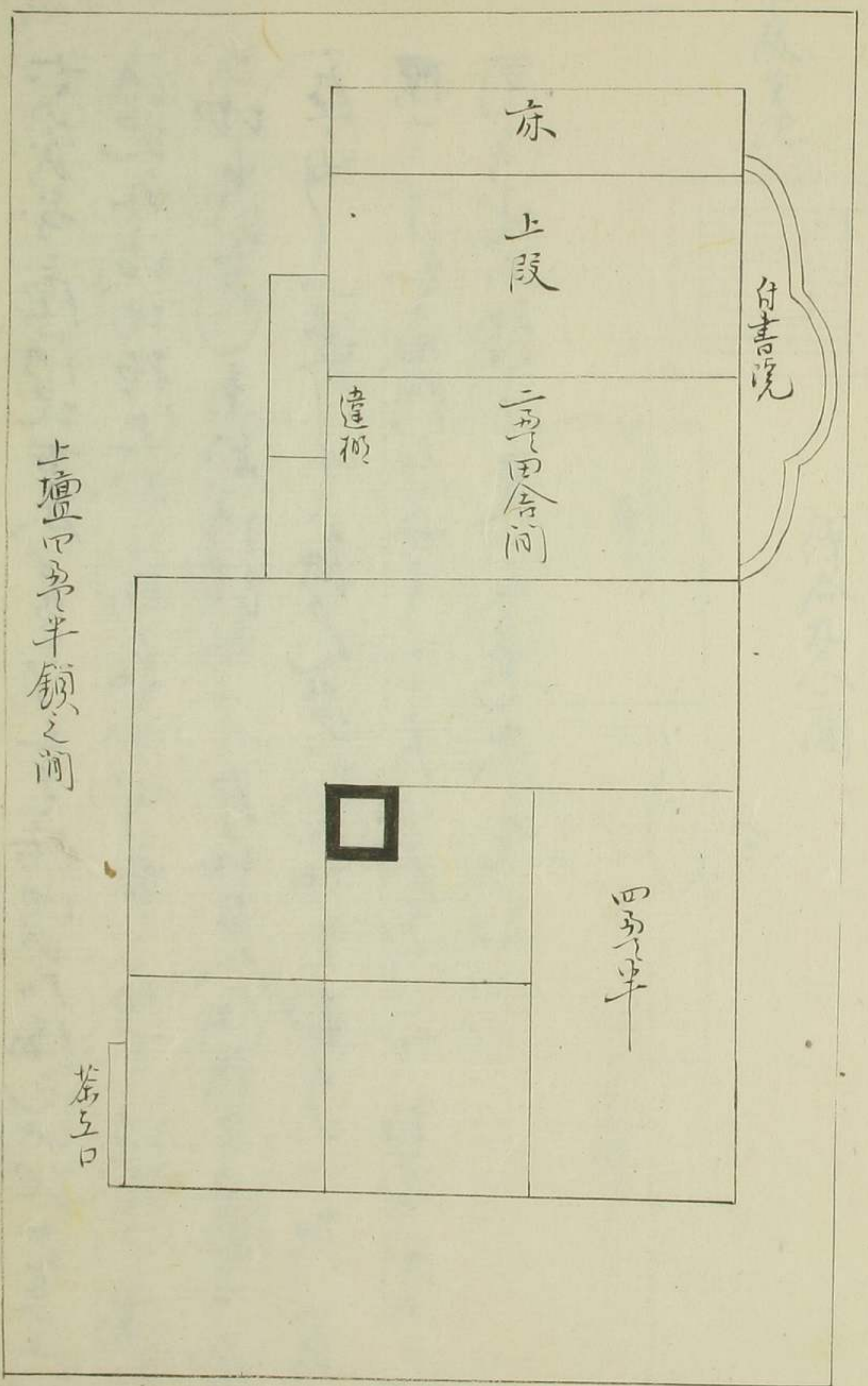
拾石

額尺石

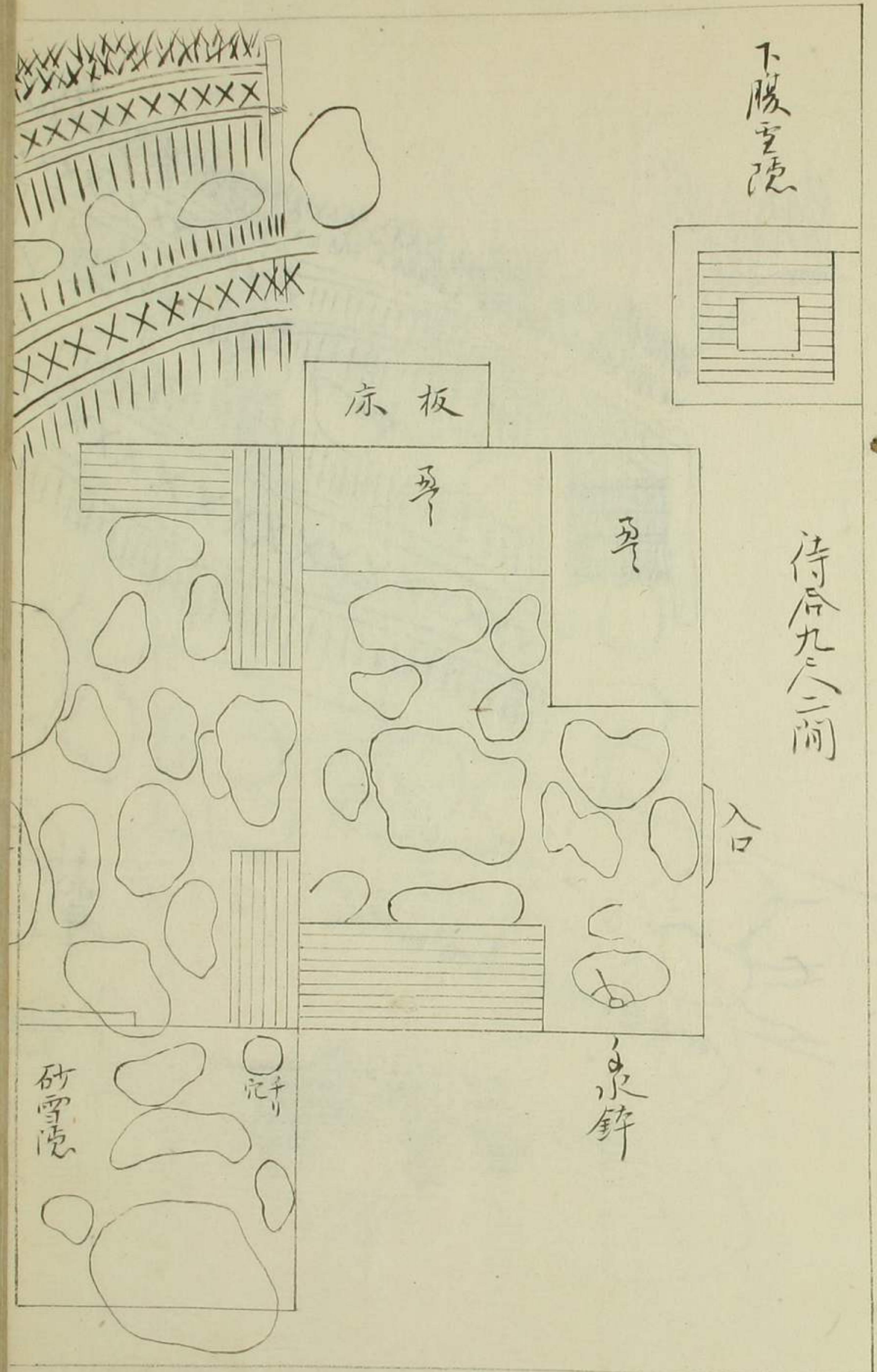
一ノ門





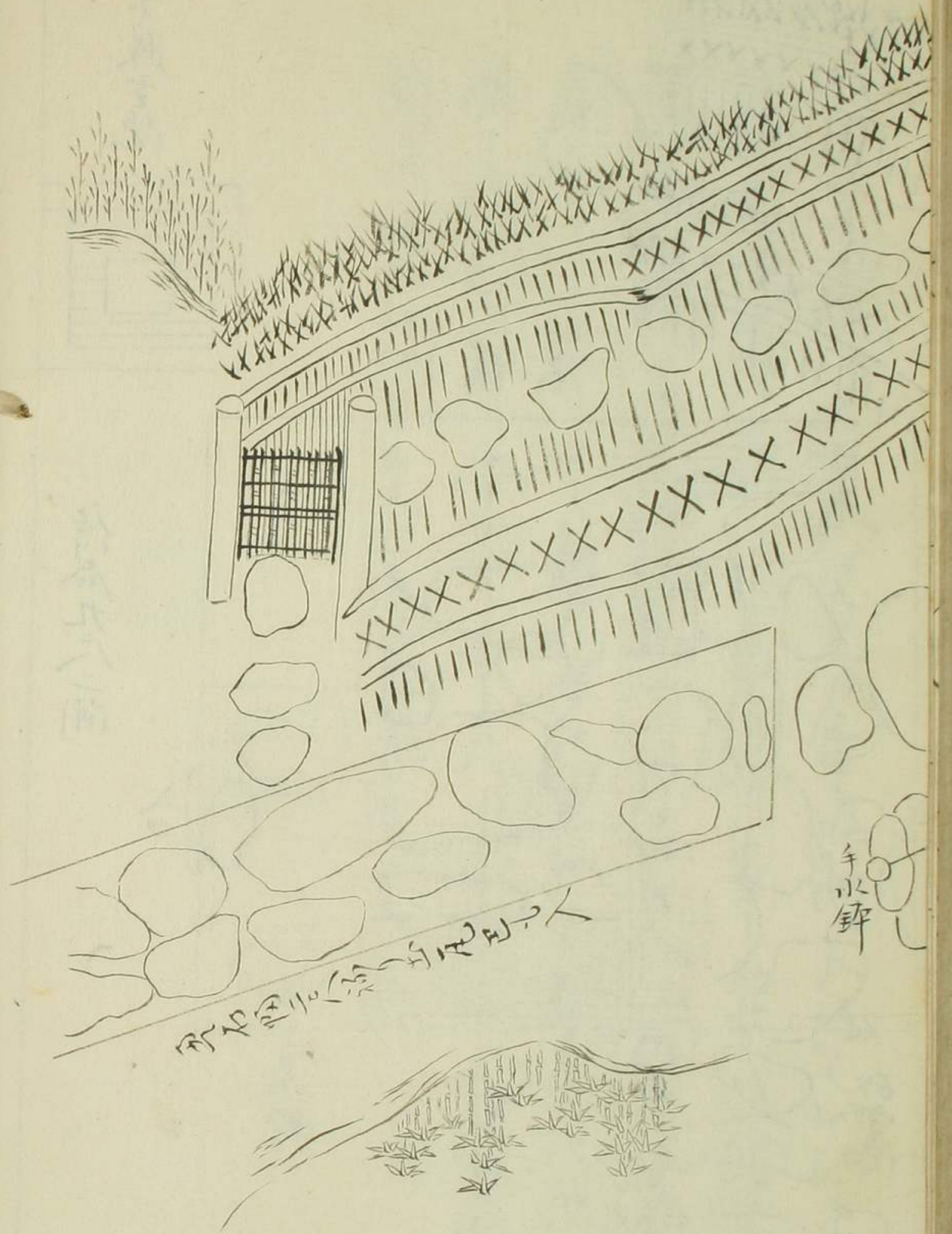
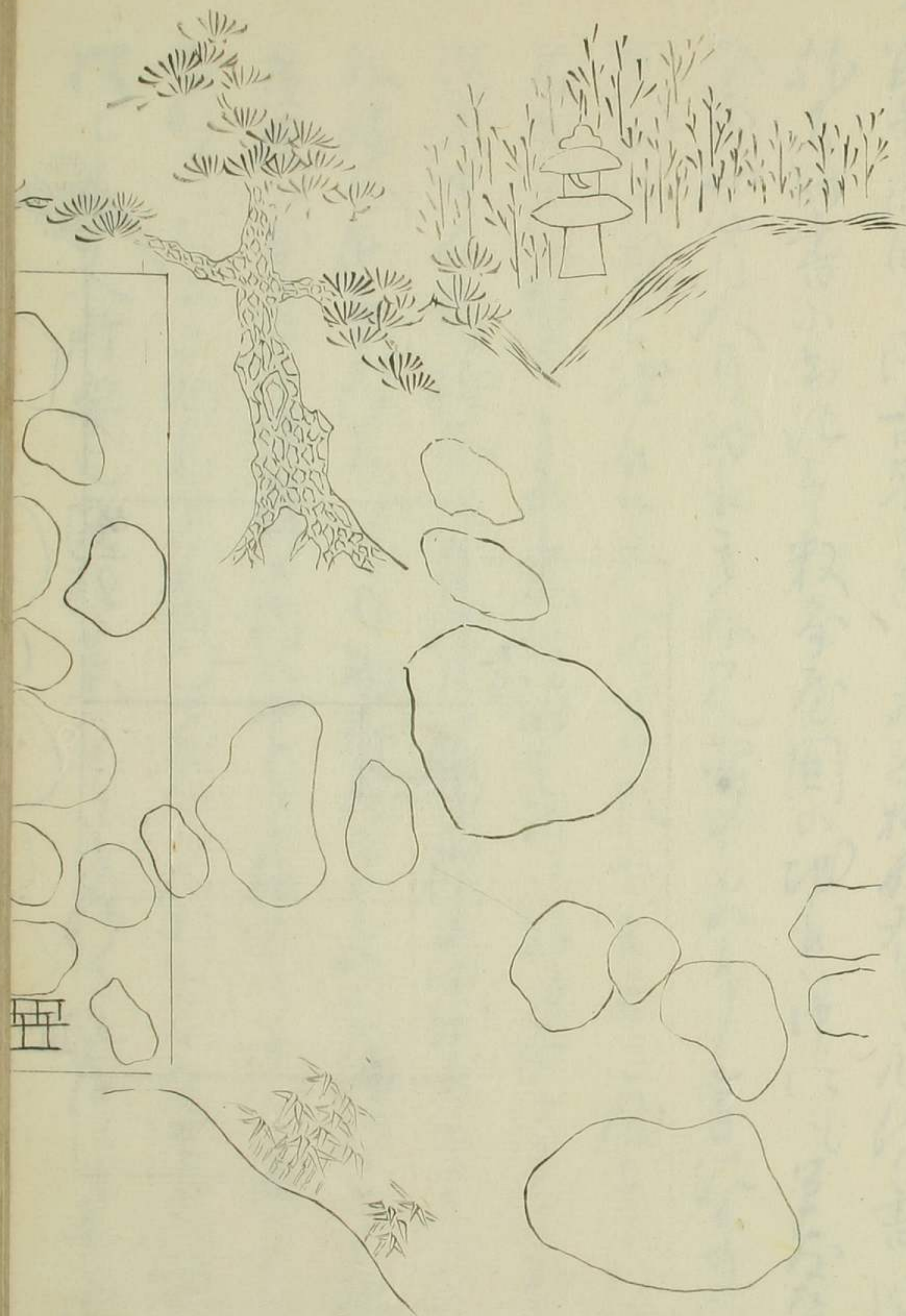






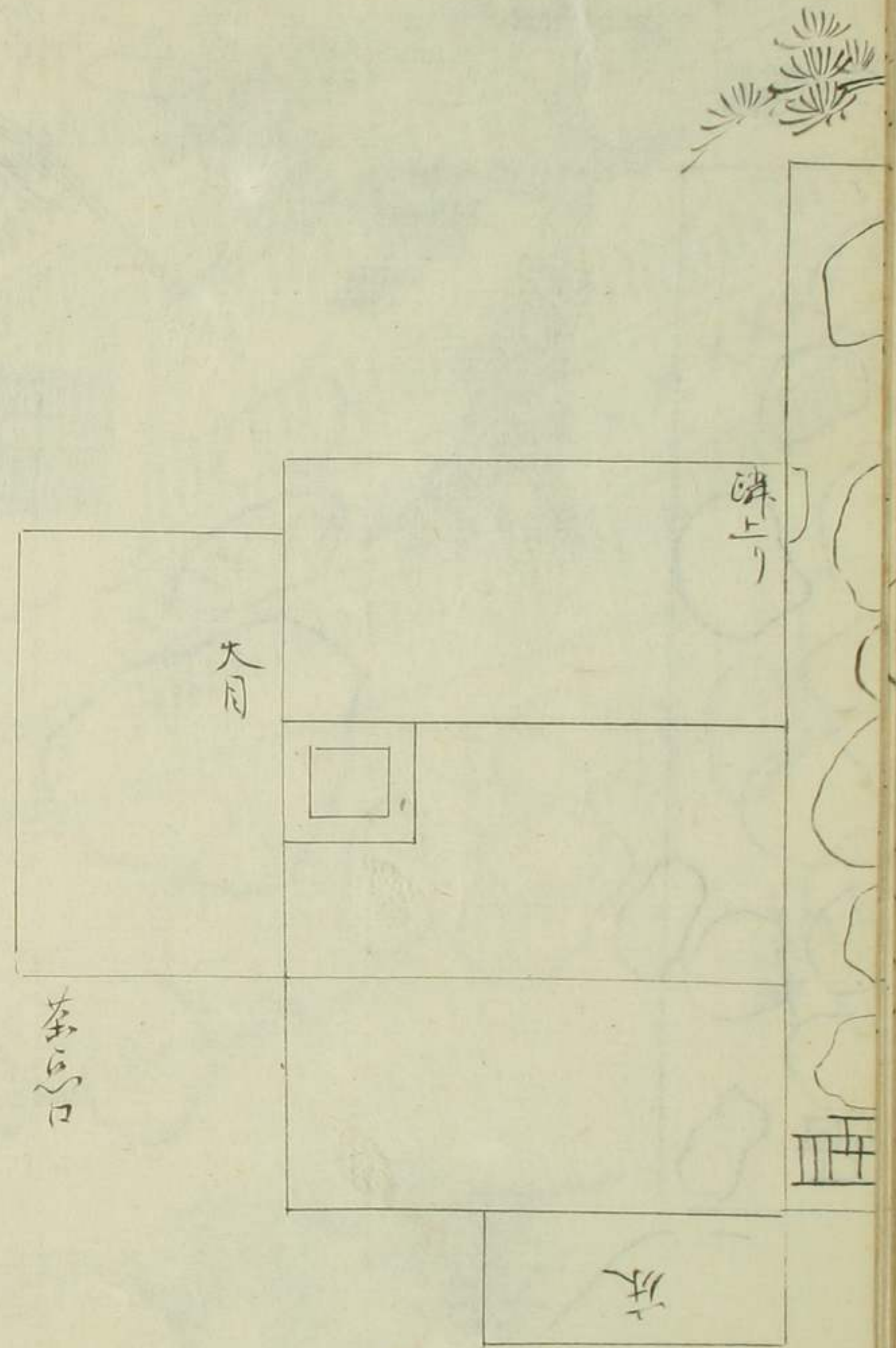
六の段より屋敷比古集分ちて三三活地の下地は地比は  
 活地比活地比極込あり物敷可あり地比活地比活地比  
 の地比比方比京比活地比外比今比古人仕強きる粉分屋  
 庭より一活しそ能く受く又功名曲ののに能く  
 標し可き或代人あり一活比不あり一活比同り之  
 同活比不活比夏比三三是来夏也







一 海身屋固り園古来のまゝ之物好有し心代の書は  
 徳才抄書小出記と教身屋固の地中にも是なる  
 一 海身屋固り人の地中にも是なる書は  
 古人の地中にも是なる石取ありて  
 尺もさしおとし日あそくに泥をわする石を多く  
 取ふ下なる樹木も日影の樹木も  
 外海合街もふらふら物好なるもの  
 廣使小舟し申階の内いせり  
 志のたより西のよのこゑ  
 柳ふた夏肝要の松葉うも



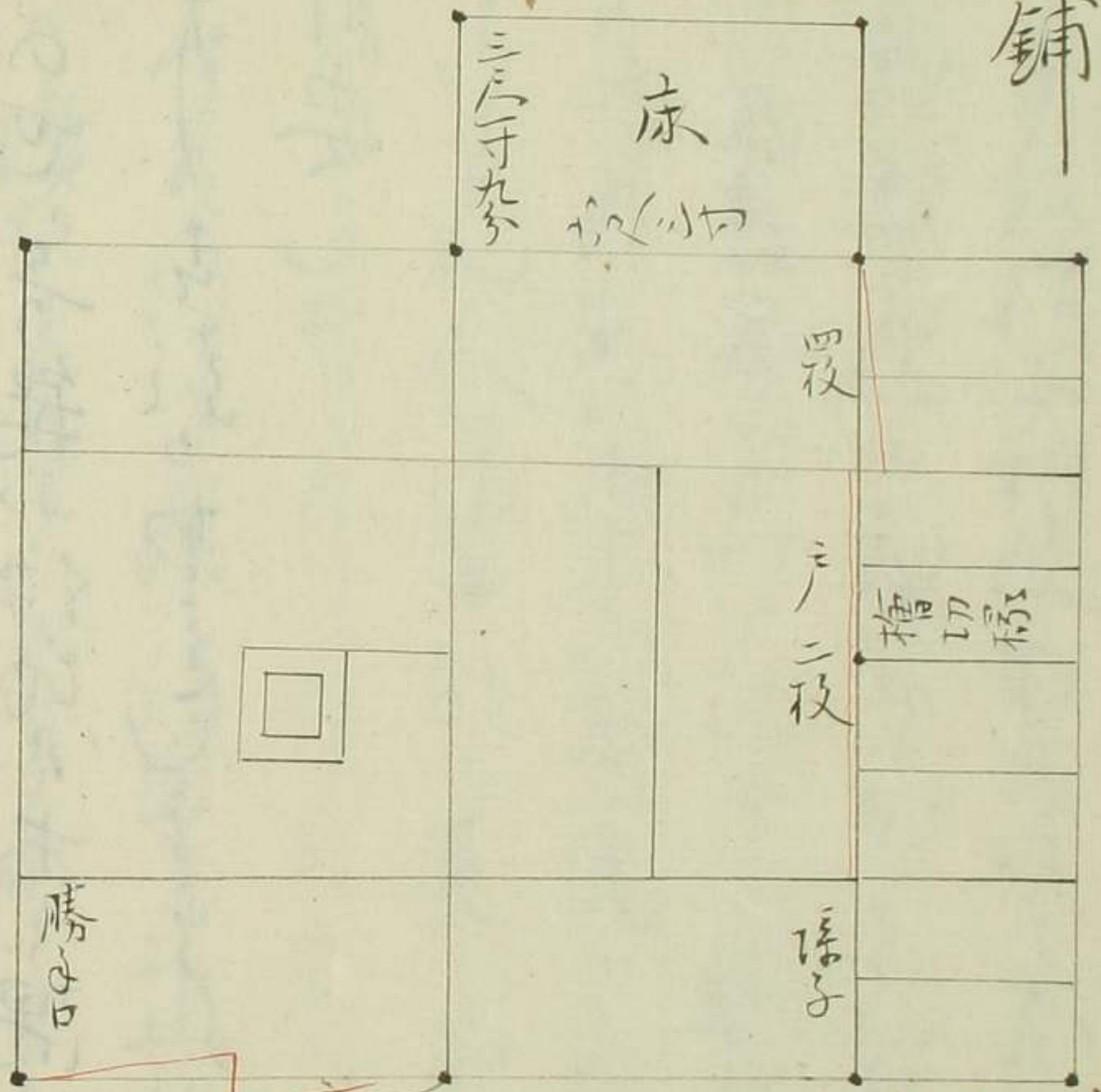


おしし 瑞鳥探のなるきう好し 卯しをねまふのす  
りし流るるゆかりをぬけふ利休のたはにておぼゆるゆき  
地は急角おぼくむ静むゆきふゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
つと新をゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
三齋のゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
多しゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
云々と利休ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
高山のゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
まき掃ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
り費をゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
甲し一せ一同又おにす入と替をゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
掃ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
を考り下り又肝要し



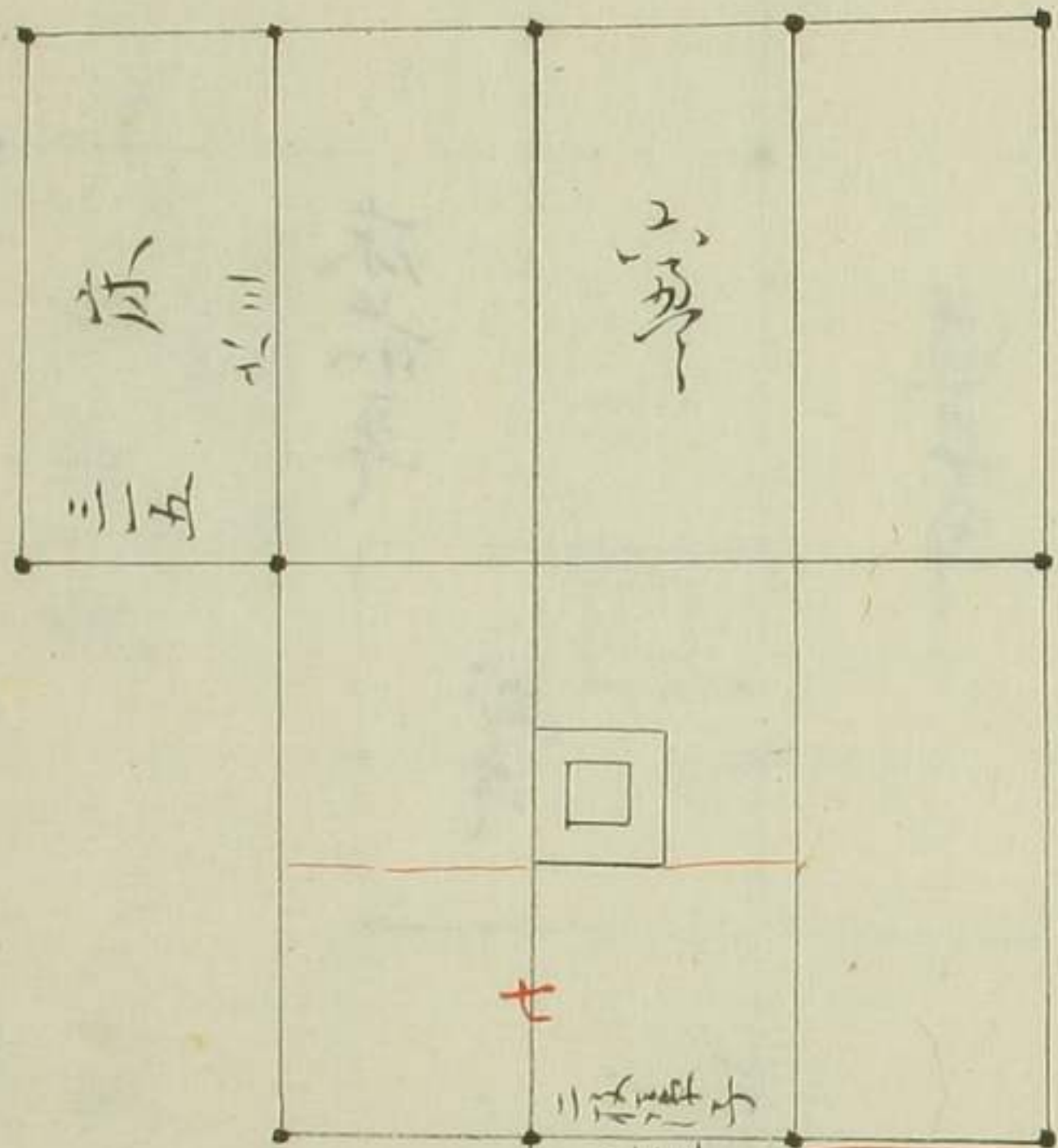
い 慈照院殿法堂鋪

一、此の法堂は、  
 少室に玉階和尚自畫  
 自畫の八景八幅を  
 此の法堂に懸け  
 存り、其の  
 法堂の  
 法堂の



朱言の分別  
 書之有之ヲ記  
 下ニナラハ

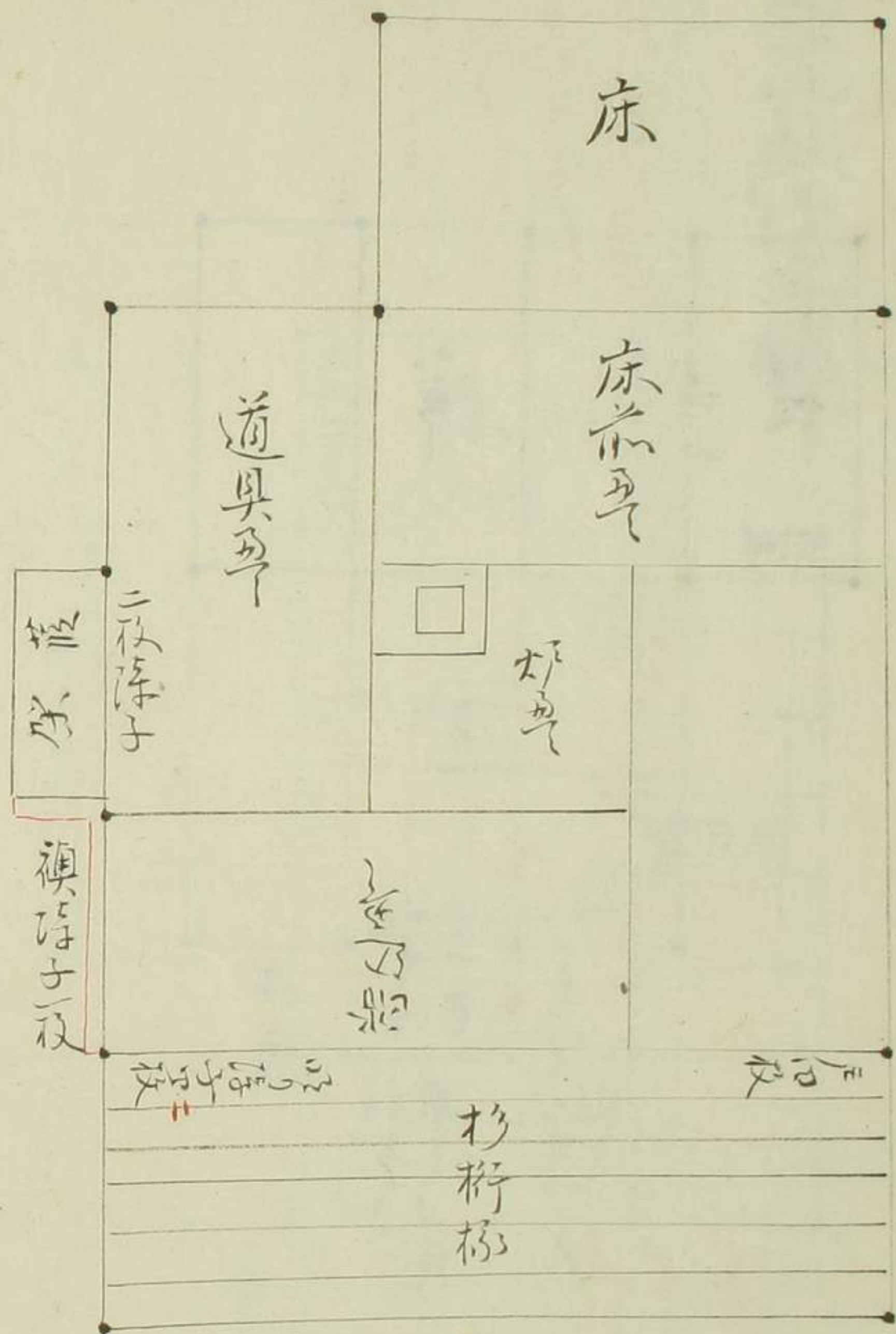
ろ 珠光堂鋪



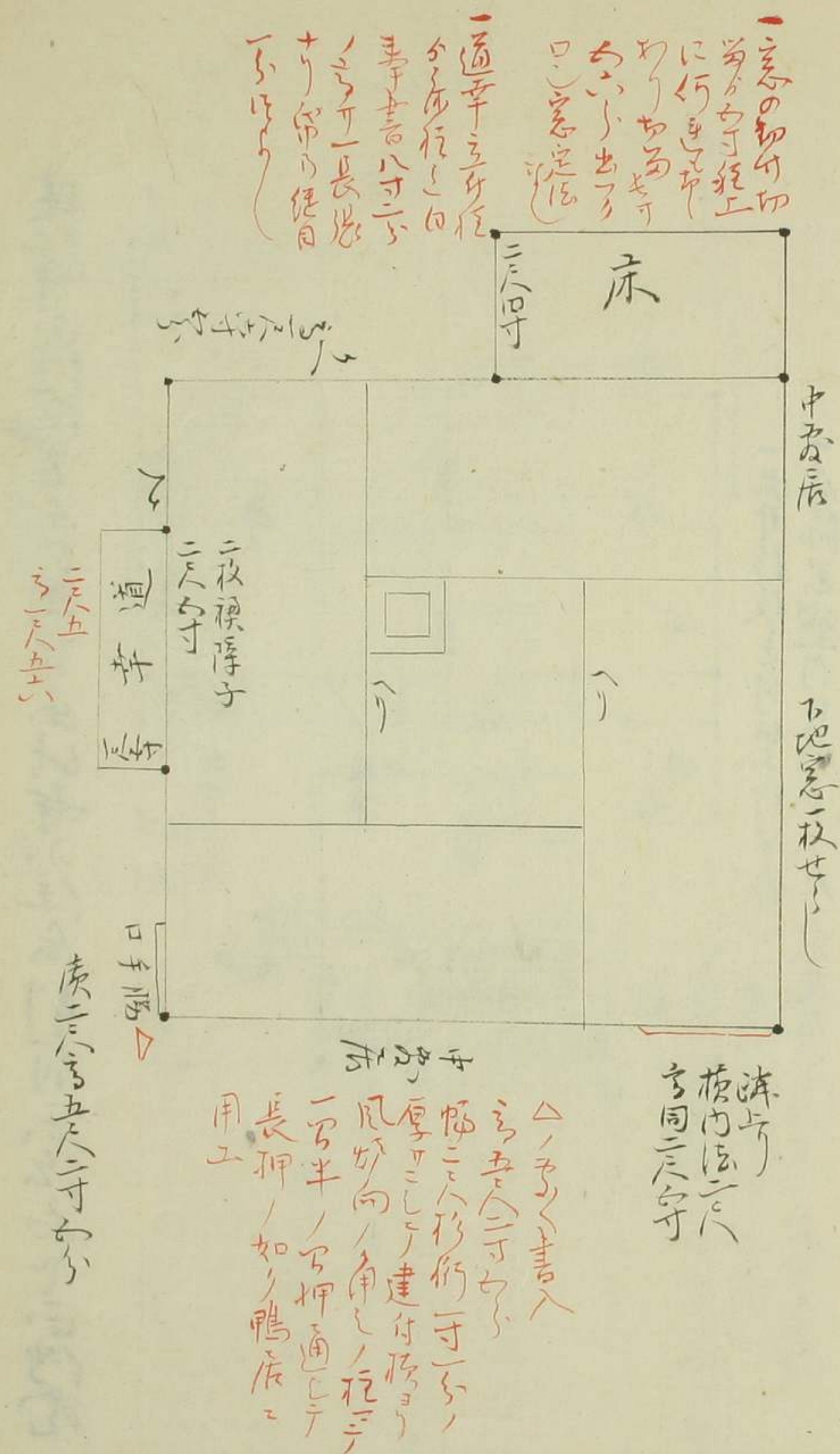
後  
 幾  
 此  
 二  
 寸  
 寸  
 寸



は紹鴻四角半の坐鋪



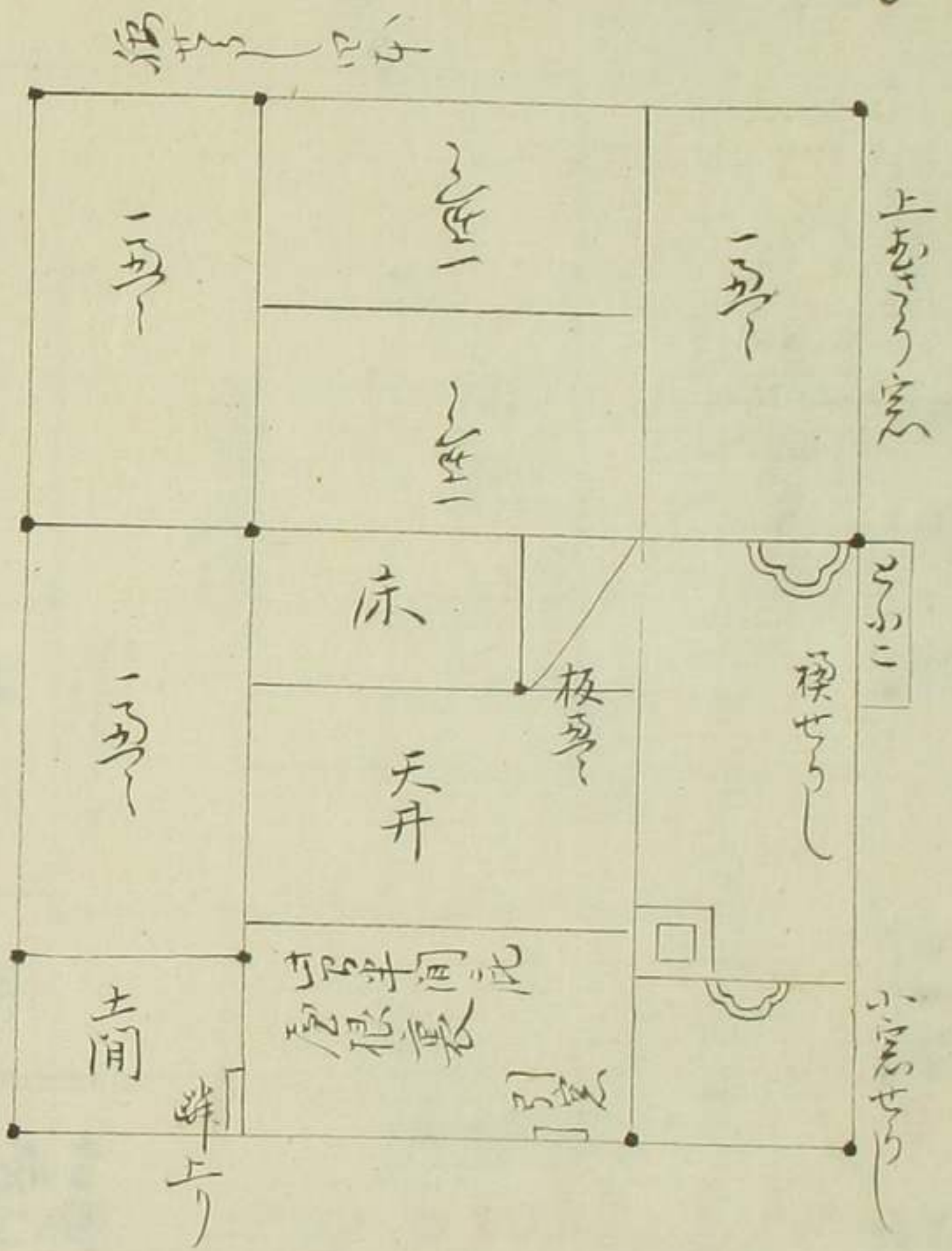
い宗易四角半の坐鋪





建仁寺の傳院有法の園有法此寺小住居外有法名と傳院

と号い

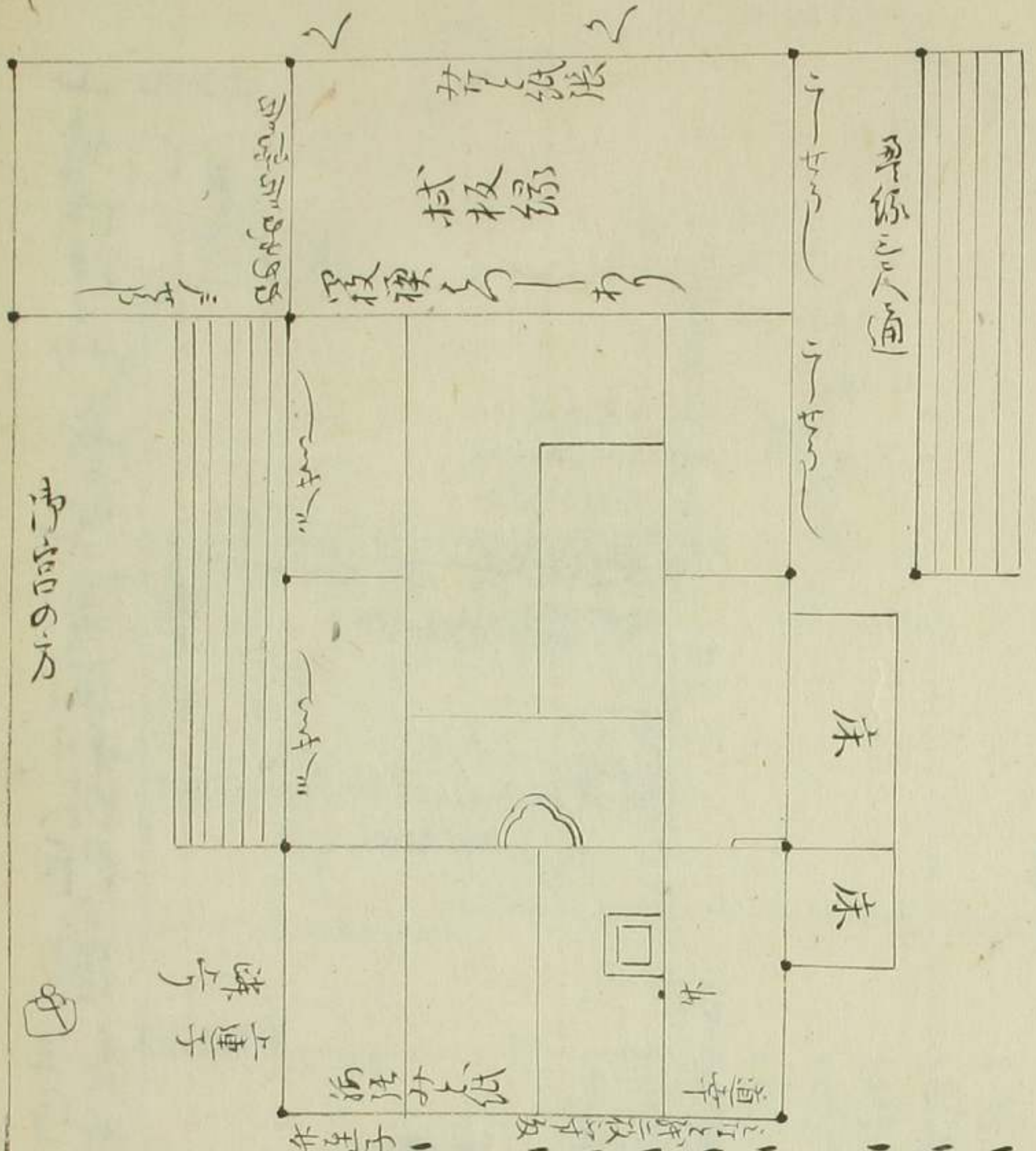


- 一 天井板も付紫竹竿縁
- 一 床縁黒塗同板松十寸丸太
- 一 道幸内法一尺二寸七分内約架一ツ

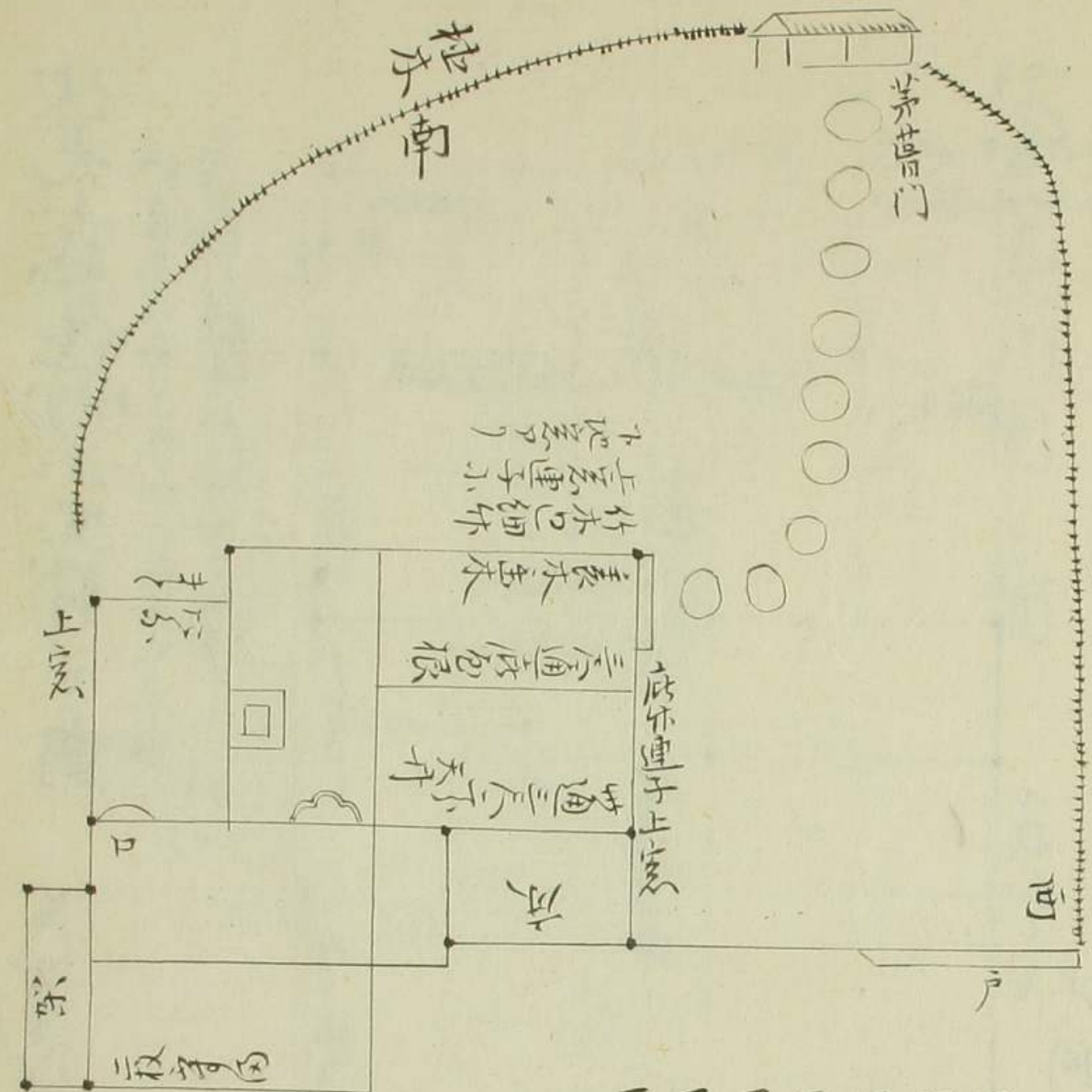
天満九昌院之坐

傳院有法の園有法此寺小住居外有法名と傳院

- 一 圓天井板すり板竹竿縁
- 一 床柱松丸太外板丸太
- 一 圓縁連子板すり有法の円外竹竿子りり
- 一 窓下石切み紙とろし
- 一 小室大政土塗
- 一 棟障子とらみ紙法を引のつみ
- 一 第一口切紙
- 一 床縁柏丸太三寸八分八厘板松
- 一 坐所床縁板すり有法の紙
- 一 坐所南の獨子りり

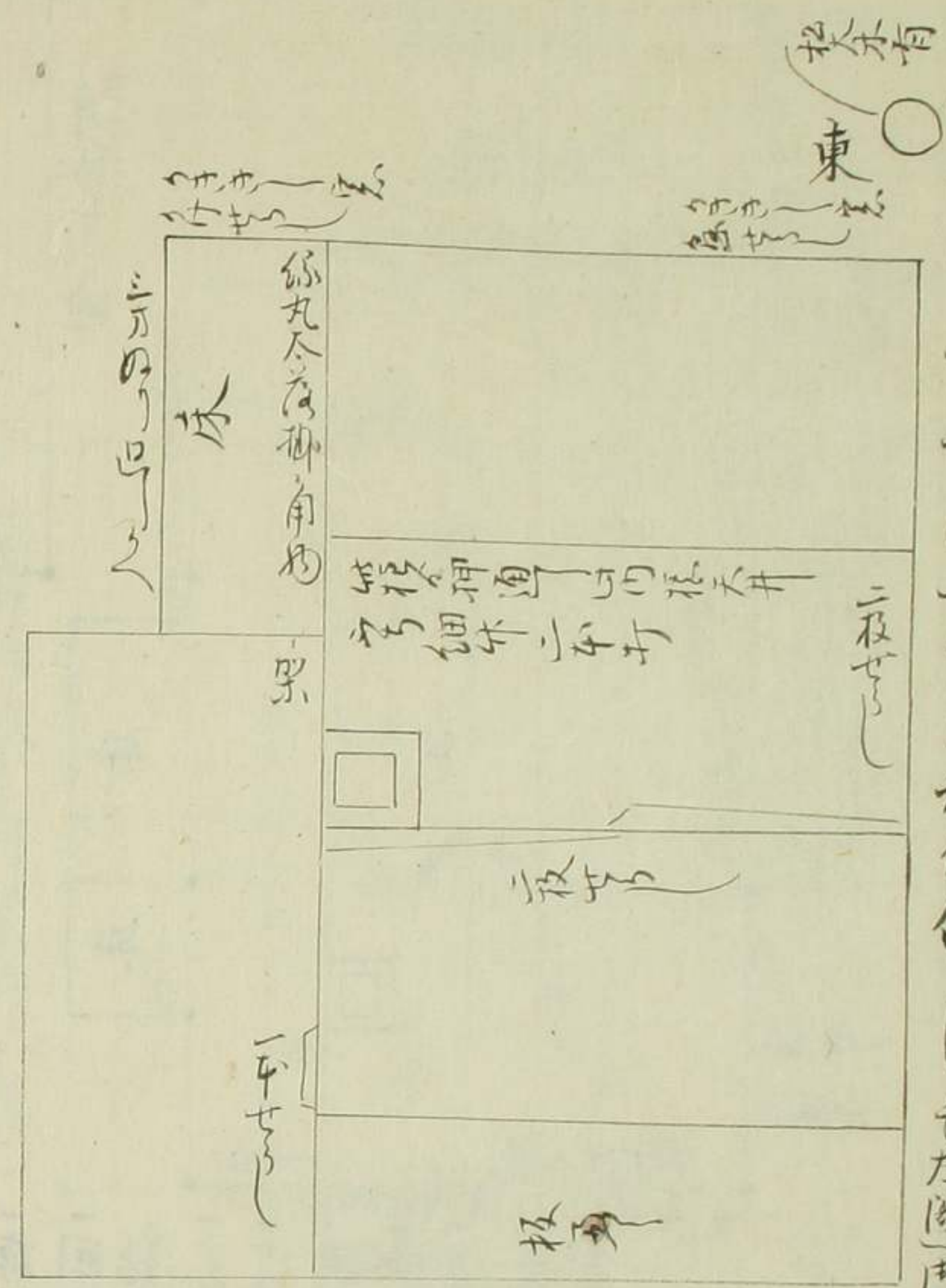






乃段心寺園位高川生安他々川建る三多々大目

- 一床在ナグリ
- 一同縁同此
- 一落盤丸亦面付
- 一丸在栗皮付
- 一外在柱丸太
- 一天井縁細竹
- 一石根裏より檜を
- 建寄半分天井



山崎坊中妙喜庵二多々園利休作の園

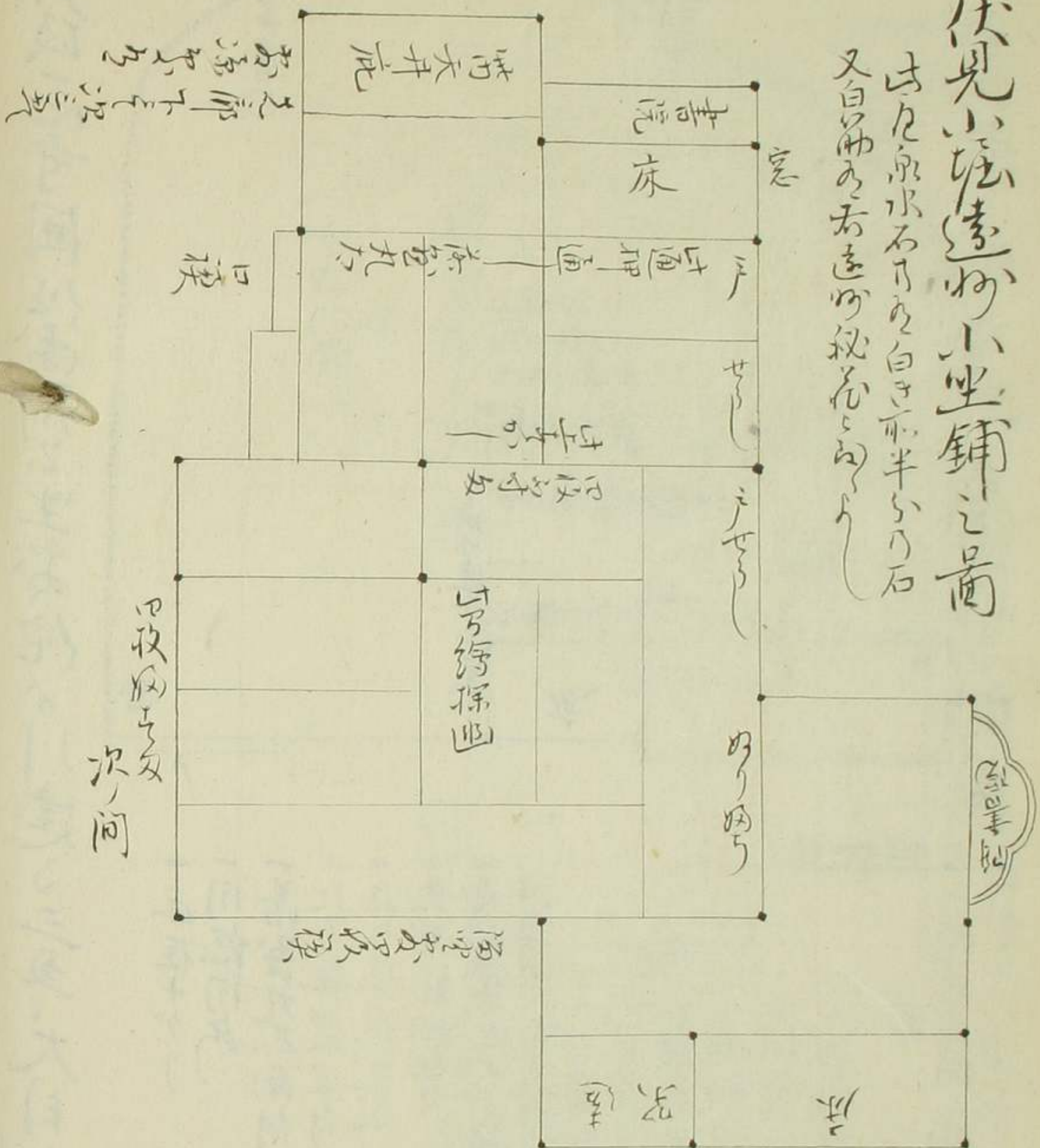
此園は四代茶のりやうと云ふにまか  
した園所系秋の依之寺の四十石

- 一床縁三六寸二分
- 一同縁寸二八寸二分
- 一石根にけり葺
- 一壁赤土塗上
- 一柱丸太
- 一坪の内出段九寸二分角
- 一丸丸くさらし里塗縁
- 一丸丸く但縁の外を
- 一八寸寸四分



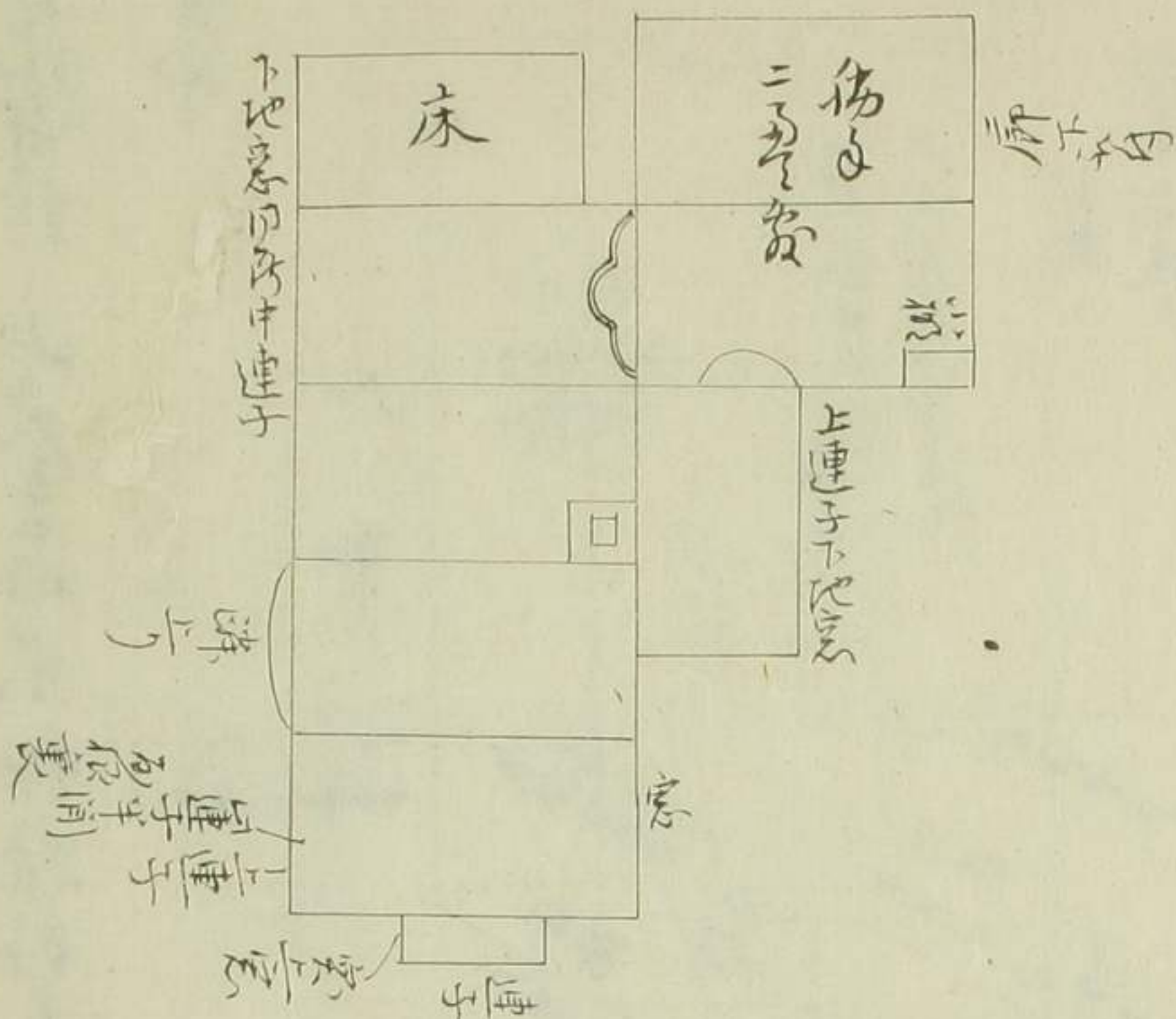
# 伏見小堀遠州小坐鋪之圖

此は京水石の白き半分の石  
又白粉の右遠州秘花の向り



園田豊平の宅を閉  
上ノ石は後庭土の  
下止に石の上より有  
テ奥廊下として付  
三ノ石半の坐敷を添  
有し此ノ石ニ外ニ  
西殿ノ間一石を添  
園前ノ少くは石の  
あり小坐鋪は石の  
下止に三ノ石半を  
小坐敷初有又係  
うつり此ノ坐敷を  
外ニ三ノ石半を添  
ありあり) 土井  
小坐鋪下ニ三階  
廊下ニ三階  
上ニ松花堂押通付  
揮動ノ下ニ三階  
乃向ノ下ニ三階  
茅草背半あり以下  
水りおとし茶室入  
乃由泉り

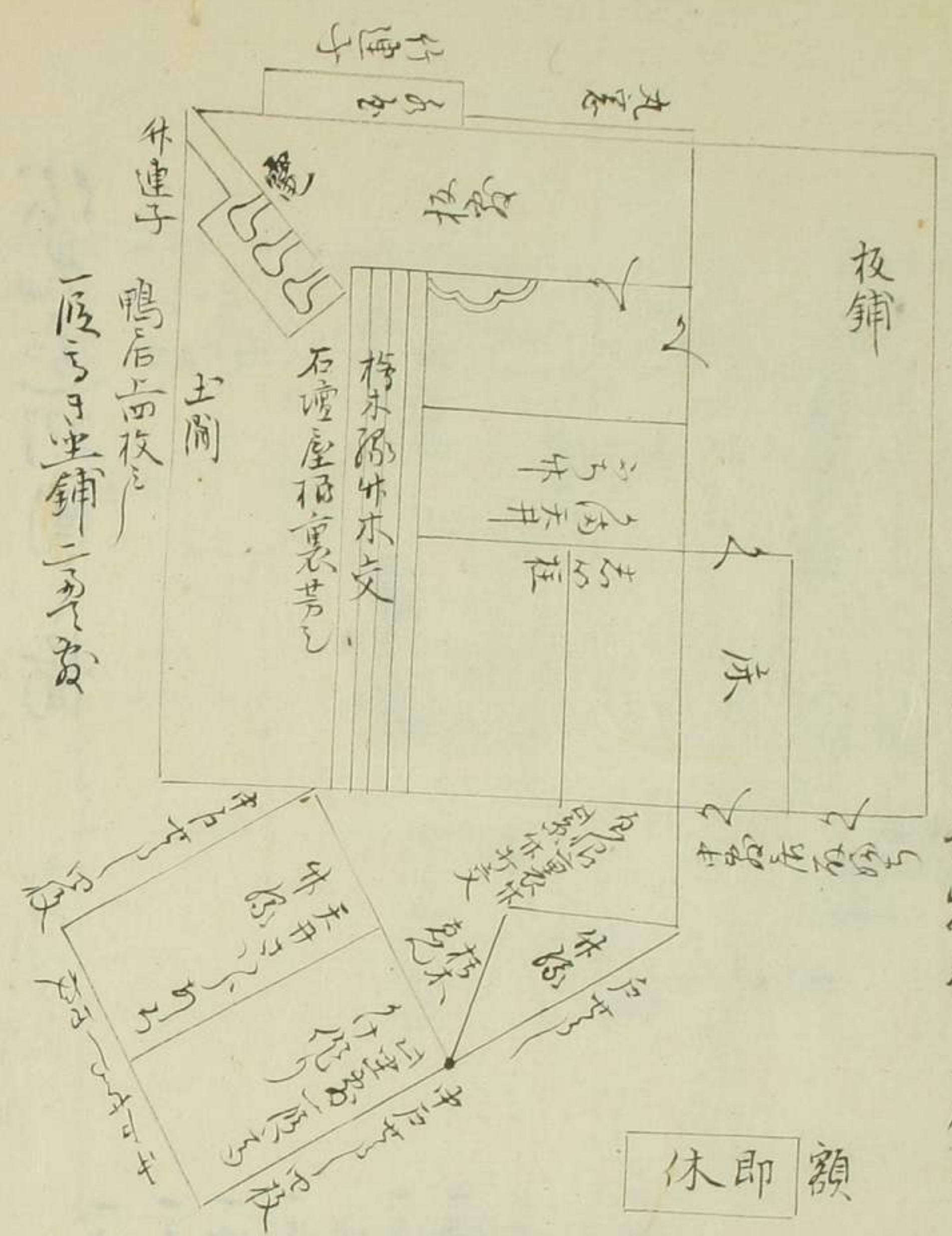
# 伏見遠州園之圖



- 一 曲柱松ナグリ丸太
- 一 床柱栗一丁の栗皮付
- 一 腰張りの紙塼壁有
- 一 天井多目竹木扉包根裏
- 一 実上窓
- 一 石根草背屋根裏板
- 一 活地不腰掛有
- 一 凡がえ窓を紙窓の法有曲り
- 一 木の門柳あり
- 一 障上りや若石伝

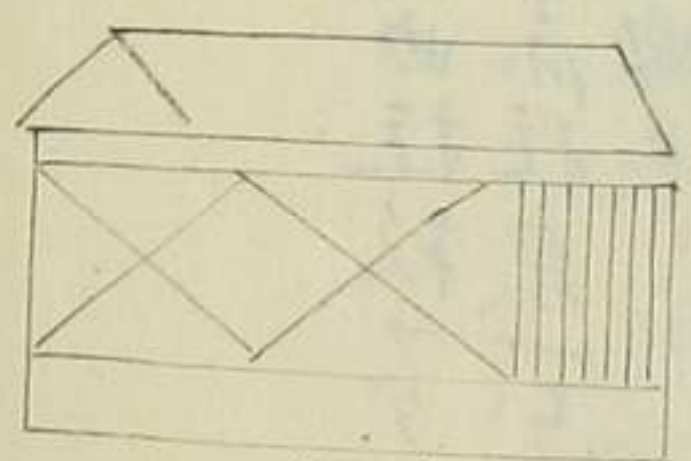


鹿苑寺北山金祿宗和物好之茶台し番



額 即休

額 夕亭

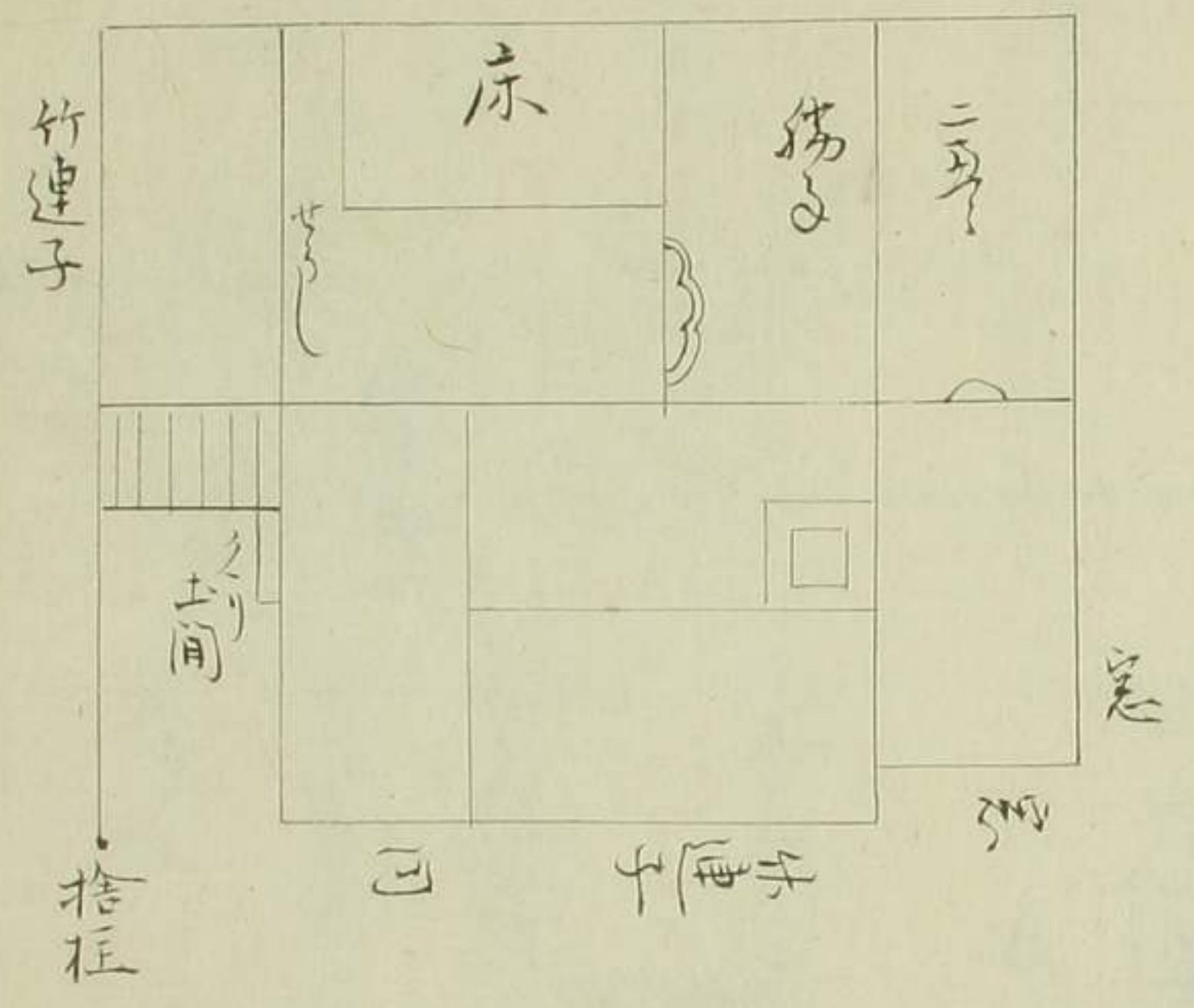


一匠 (one craftsman) 二匠 (two craftsmen) 三匠 (three craftsmen) 四匠 (four craftsmen) 五匠 (five craftsmen) 六匠 (six craftsmen) 七匠 (seven craftsmen) 八匠 (eight craftsmen) 九匠 (nine craftsmen) 十匠 (ten craftsmen)

上 (top) 下 (bottom) 左 (left) 右 (right)

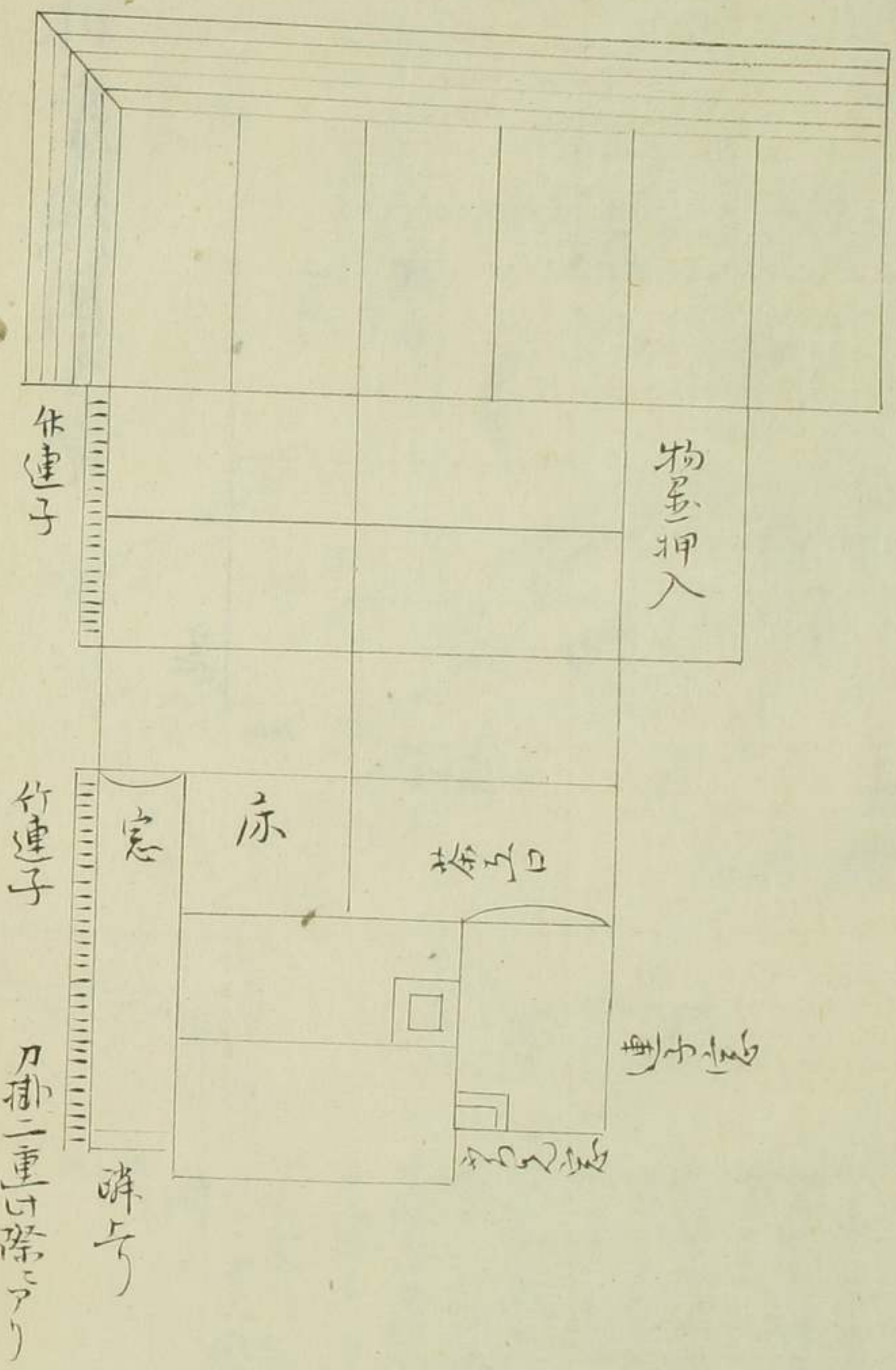
土間 (dirt floor) 縁 (veranda) 庭 (garden)

宇治上林峯須田之番

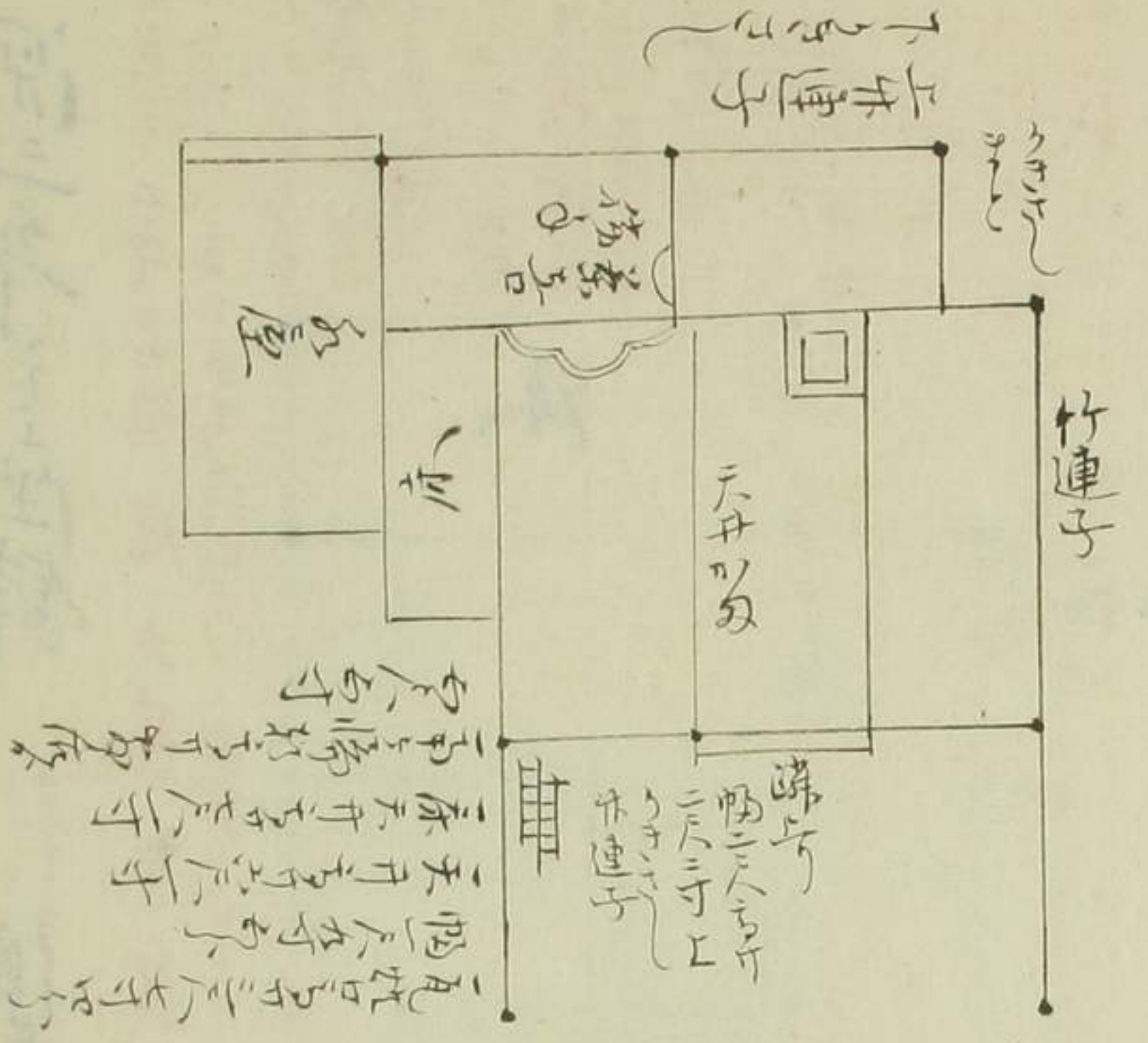




古織部好敷多屋宇上林平入二五々大目之番



小法遠州好上林下田之番



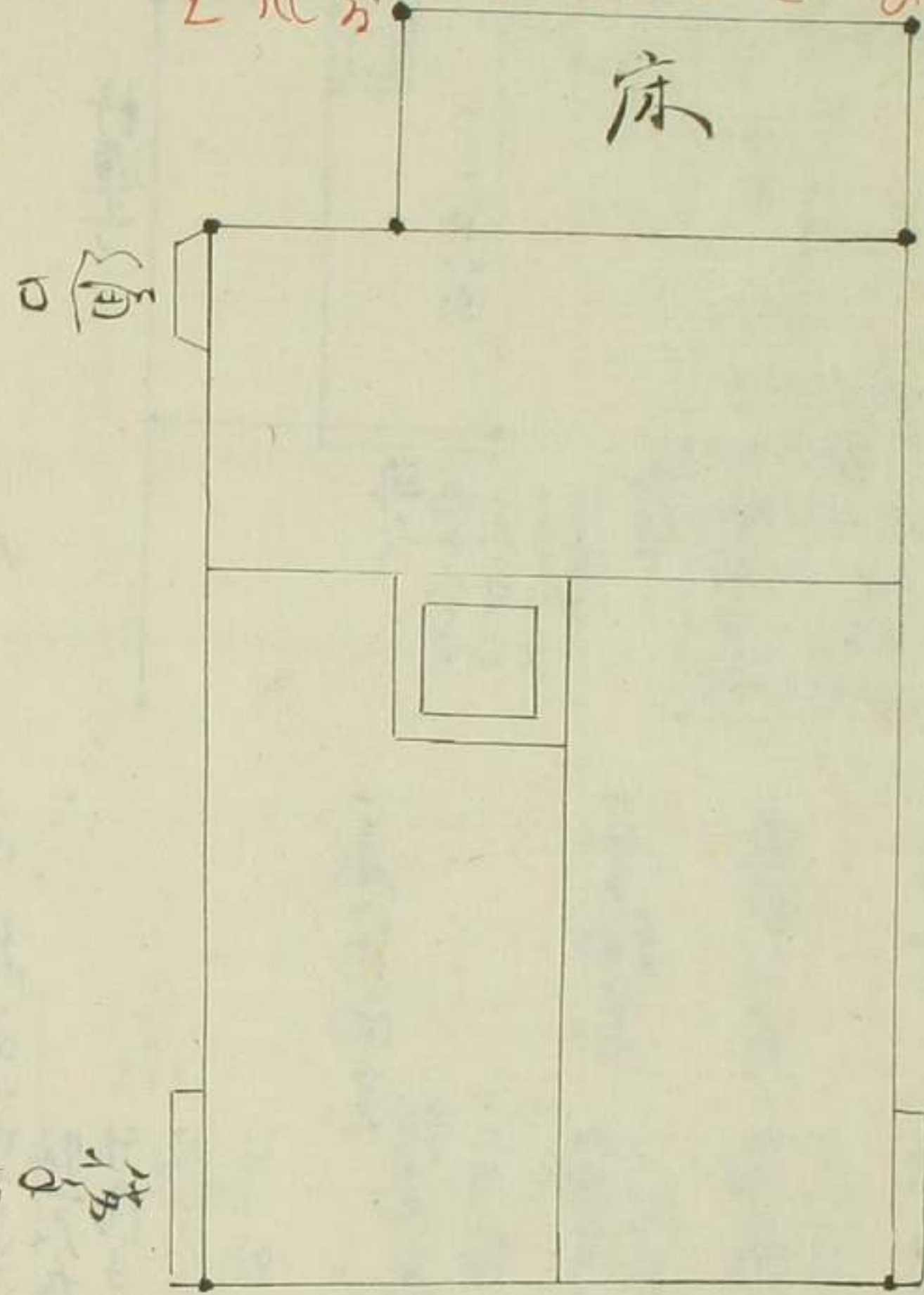
- 一 床の内四意  
 地盤の高分二尺七寸下の意(一) 前後の  
 二寸幅一尺二寸
- 一 南の端意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分
- 一 西の端意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分
- 一 床の幅意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分
- 一 障子の意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分
- 一 窓の意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分
- 一 物置の意  
 四寸二尺二寸の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分  
 四寸五分の内法二尺七寸五分



ほ深三寸の座鋪

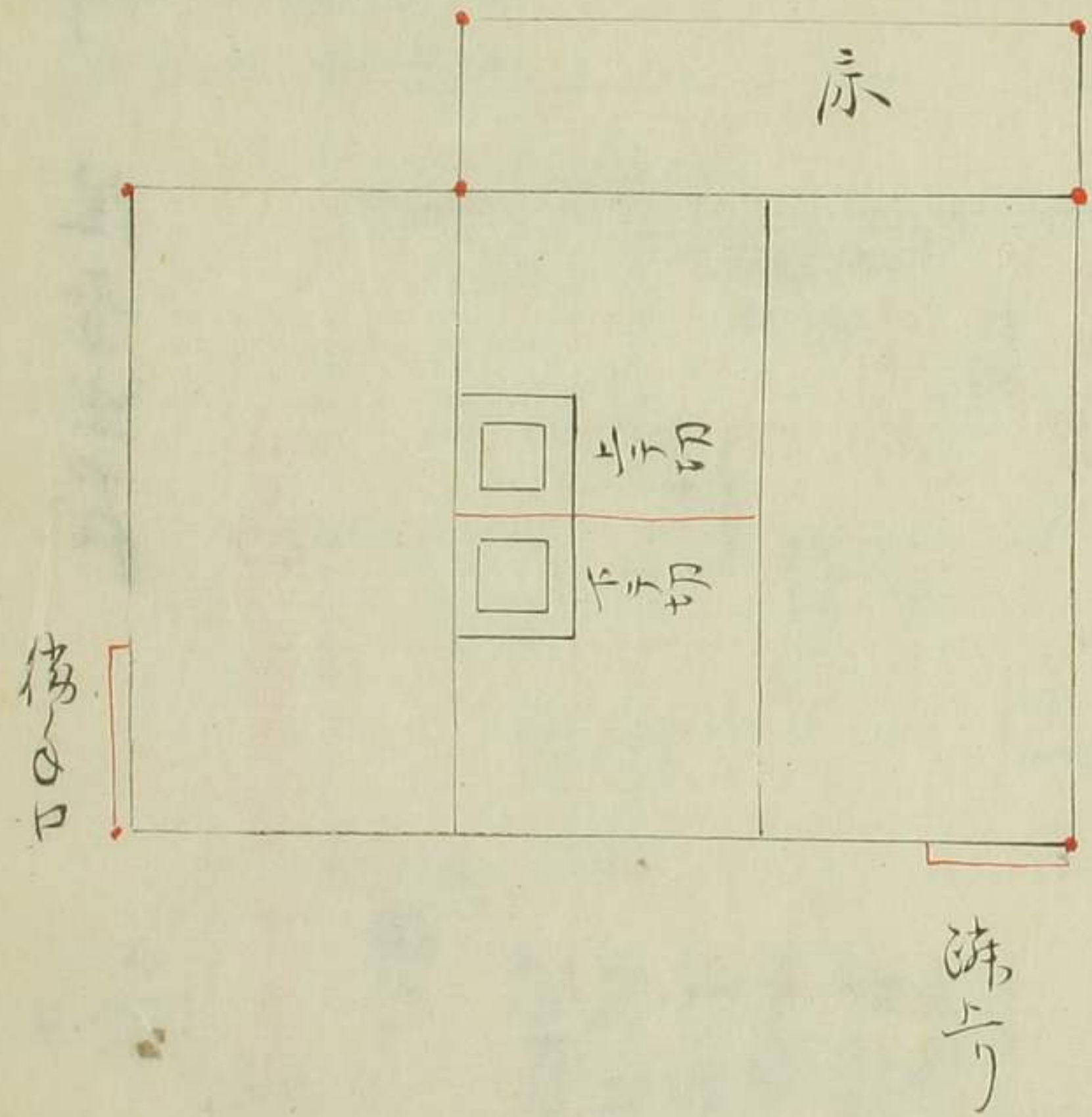
但音座おし

一若此座の二三寸を裁き但一五寸毎に裁き切られしはせよと云ふ  
 好むやいふ座のち好む色と石とをいふ易記と云ふ  
 三尺寸を裁き  
 及びこれを向く  
 入て是(押)めて  
 好むやいふ座  
 カキを(又)凡  
 好むの(替)え  
 を(裁)き凡  
 を(裁)き凡  
 多(裁)き凡  
 時(裁)き凡  
 かの(裁)き凡  
 と(裁)き凡



平三寸の坐鋪

但音座鋪し

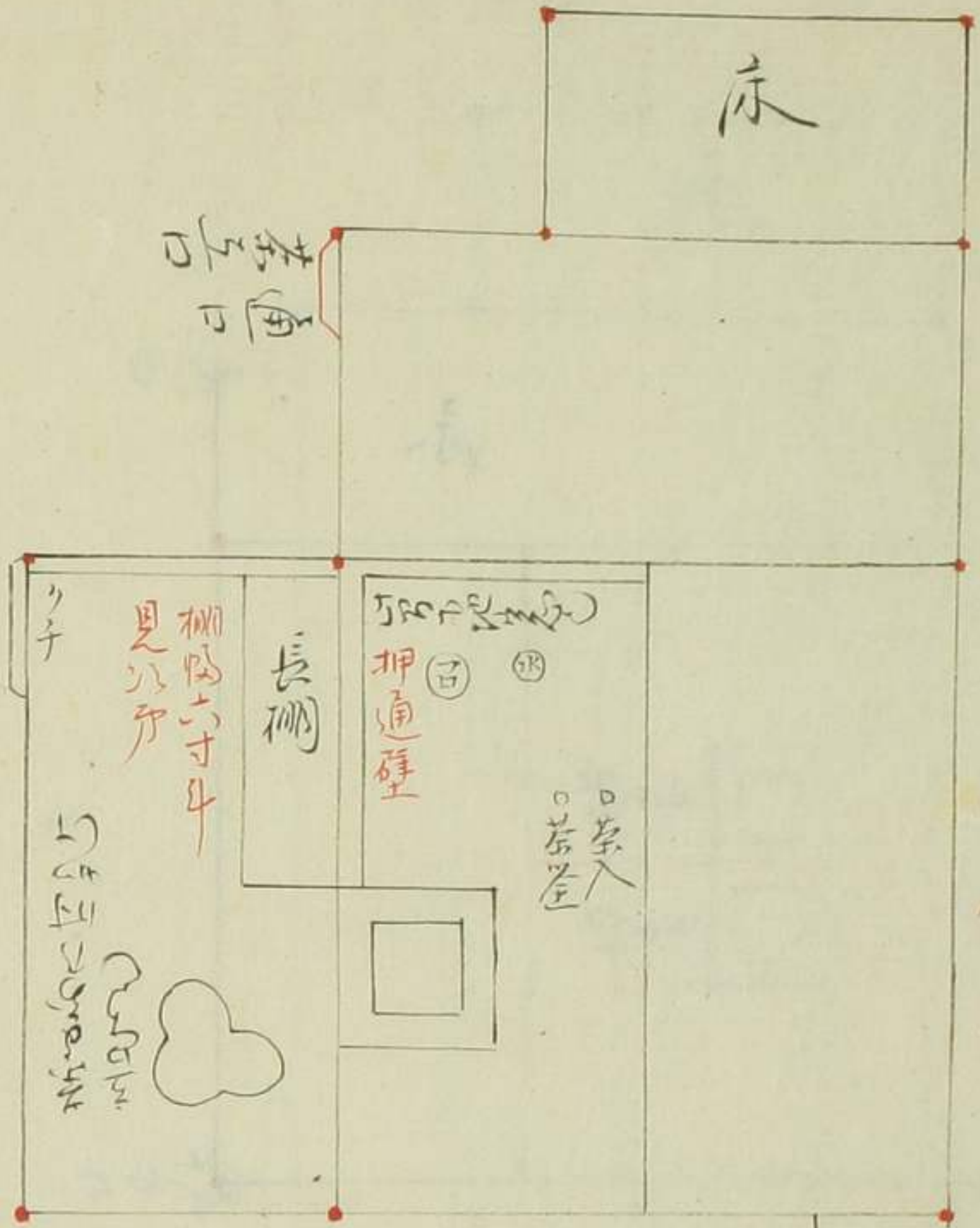




三ツ子坐鋪

但音坐敷

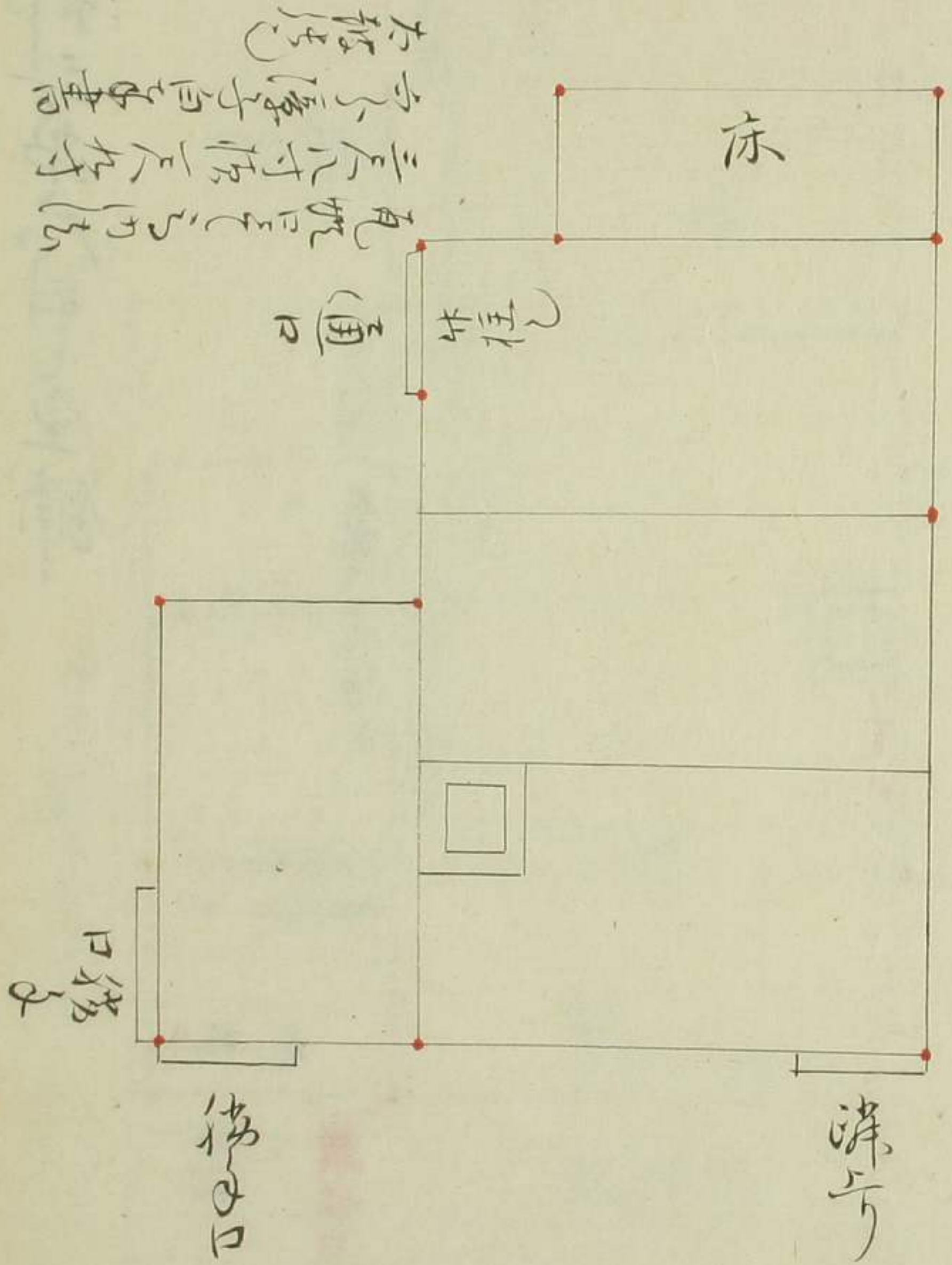
此坐鋪三ツ子目ノ坐敷始



洋子

此長棚の下より二寸幅  
二寸五分の下地を  
その上を茶室及床  
の時の下地を茶室  
の指し付を付けて茶室  
なり

三ツ子目座鋪



口茶

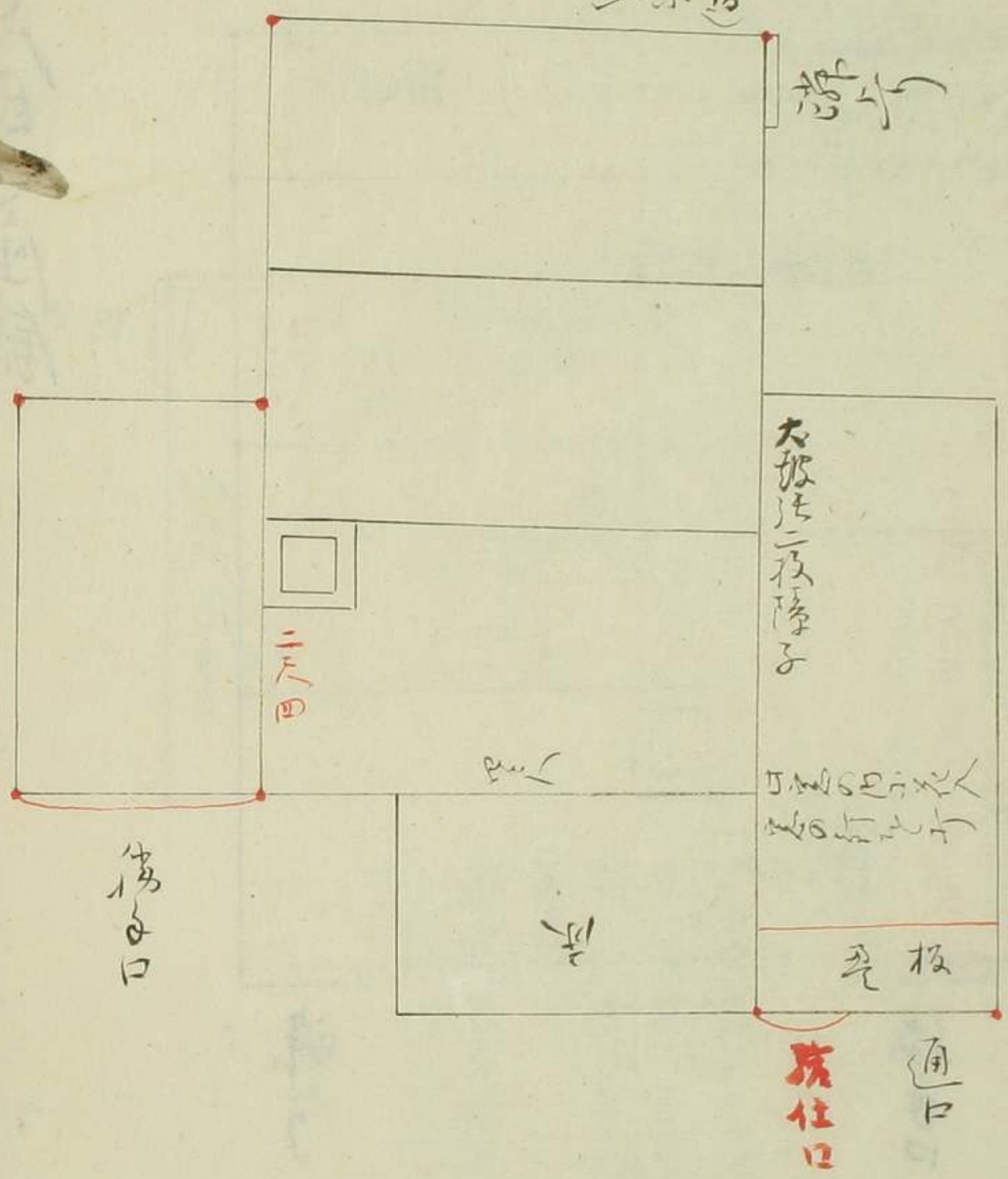
後口

洋子



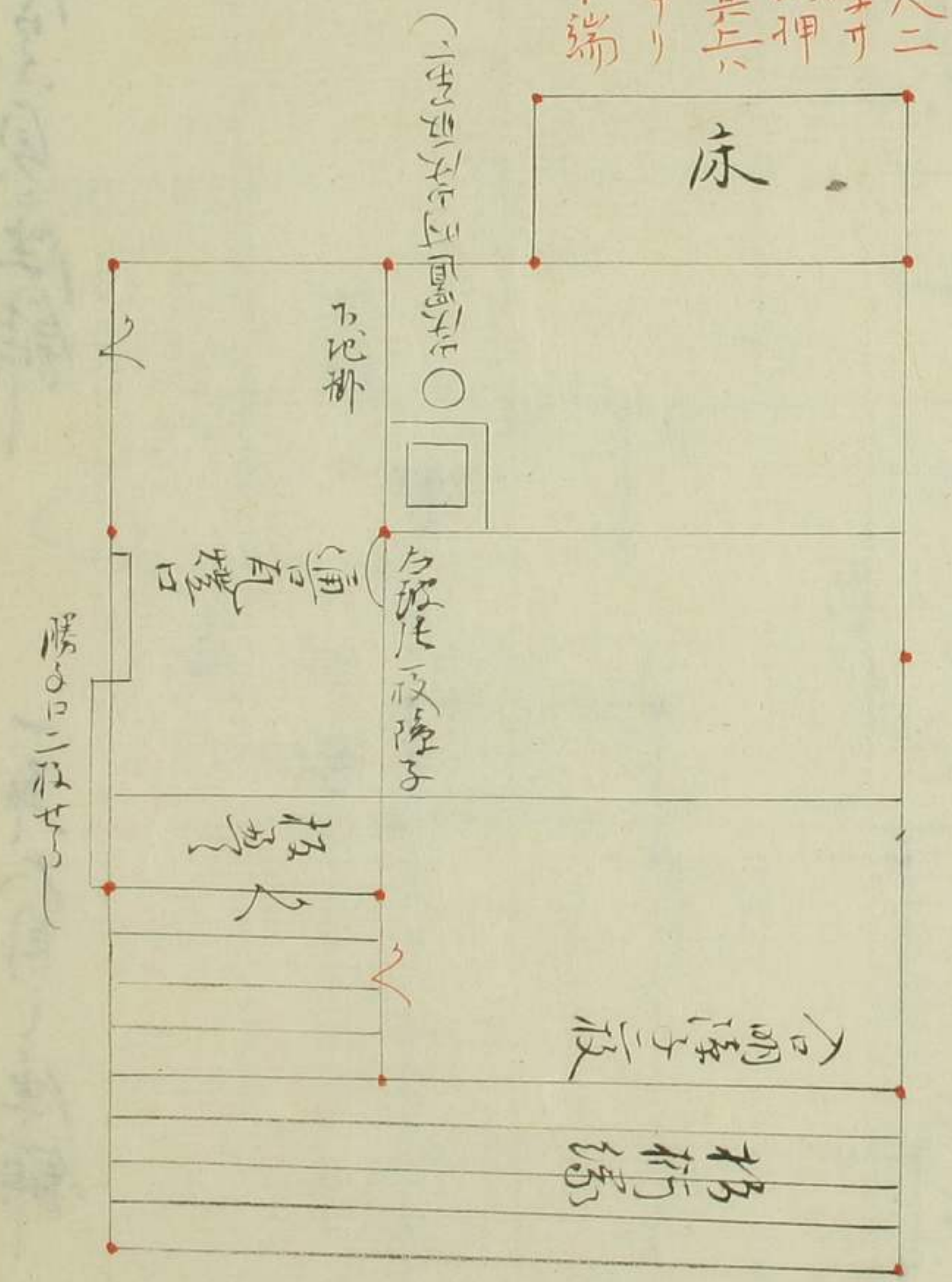
り古田織部三為人自之座鋪

一申程ノ上ハ下ヨリ五尺八二  
三寸上三寸ニ分ノ厚サ  
横不テ一間半ノ間押  
通シテ入候ナリ其兵  
座中ト一面ニ天井ナリ  
中柱モ此横木ノ下端  
マニノ上セリ也



ぬ道安坐鋪

一申程ノ上ハ下ヨリ五尺八二  
三寸上三寸ニ分ノ厚サ  
横不テ一間半ノ間押  
通シテ入候ナリ其兵  
座中ト一面ニ天井ナリ  
中柱モ此横木ノ下端  
マニノ上セリ也



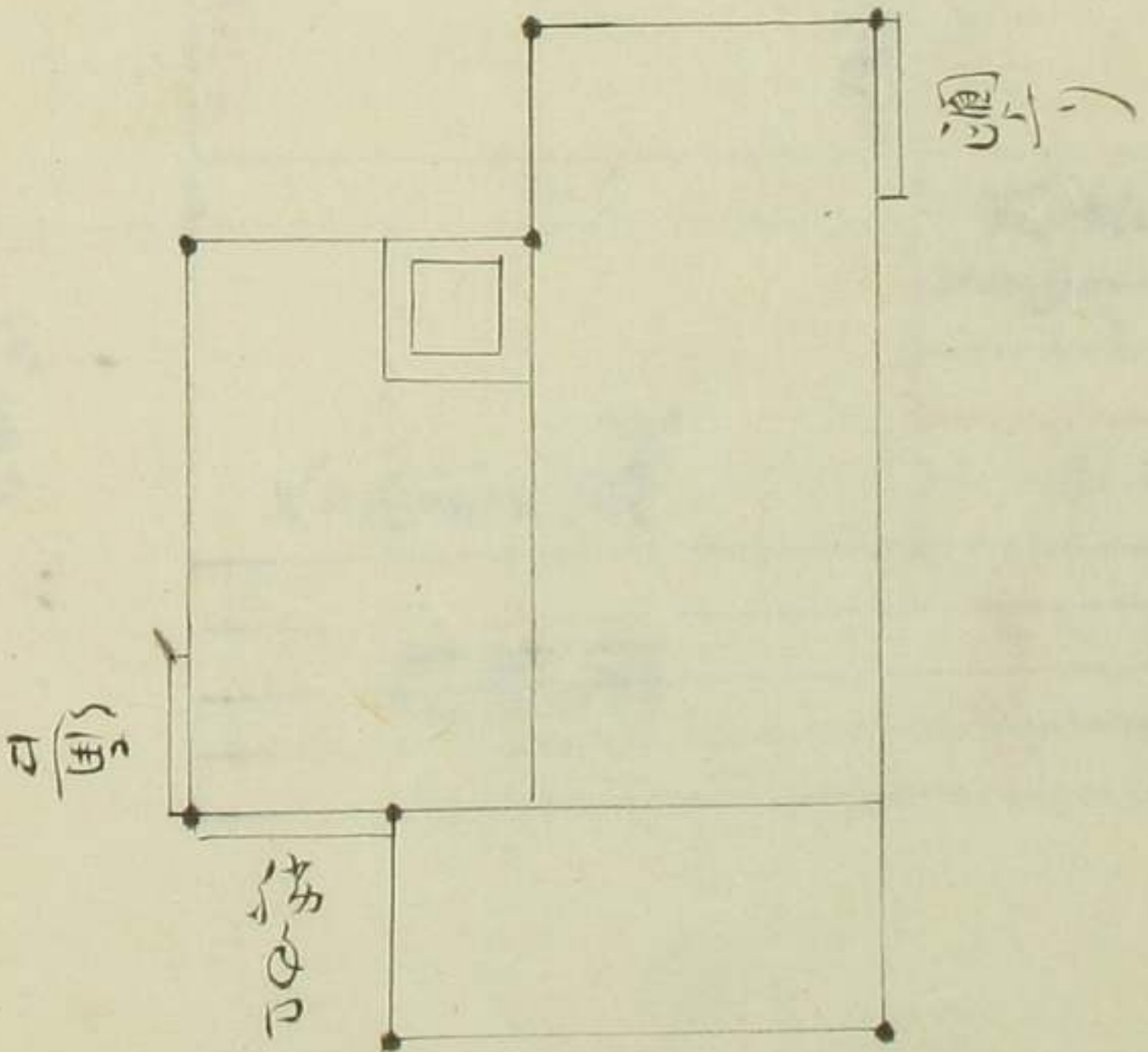
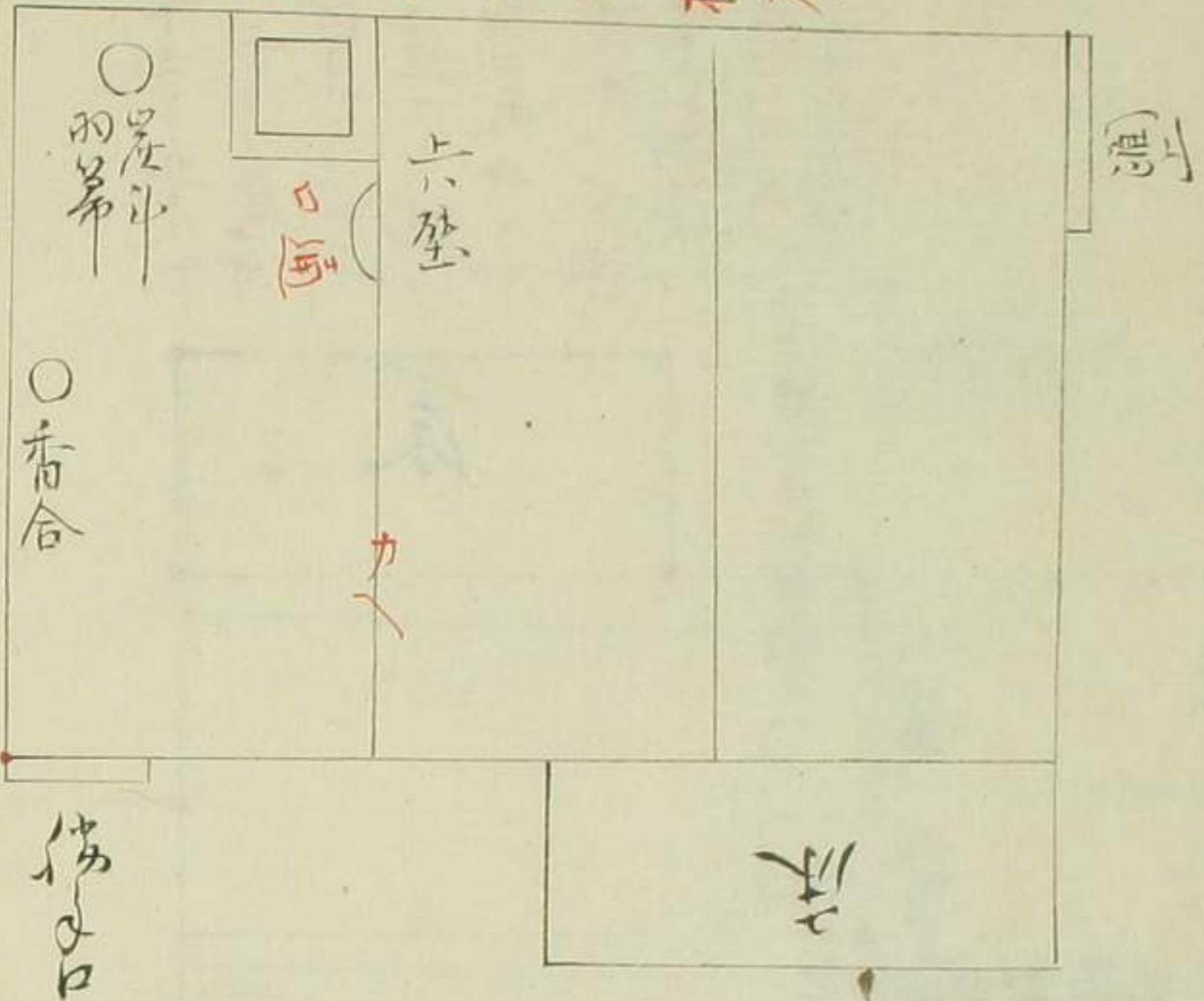


了平邸屋京貞性鋪

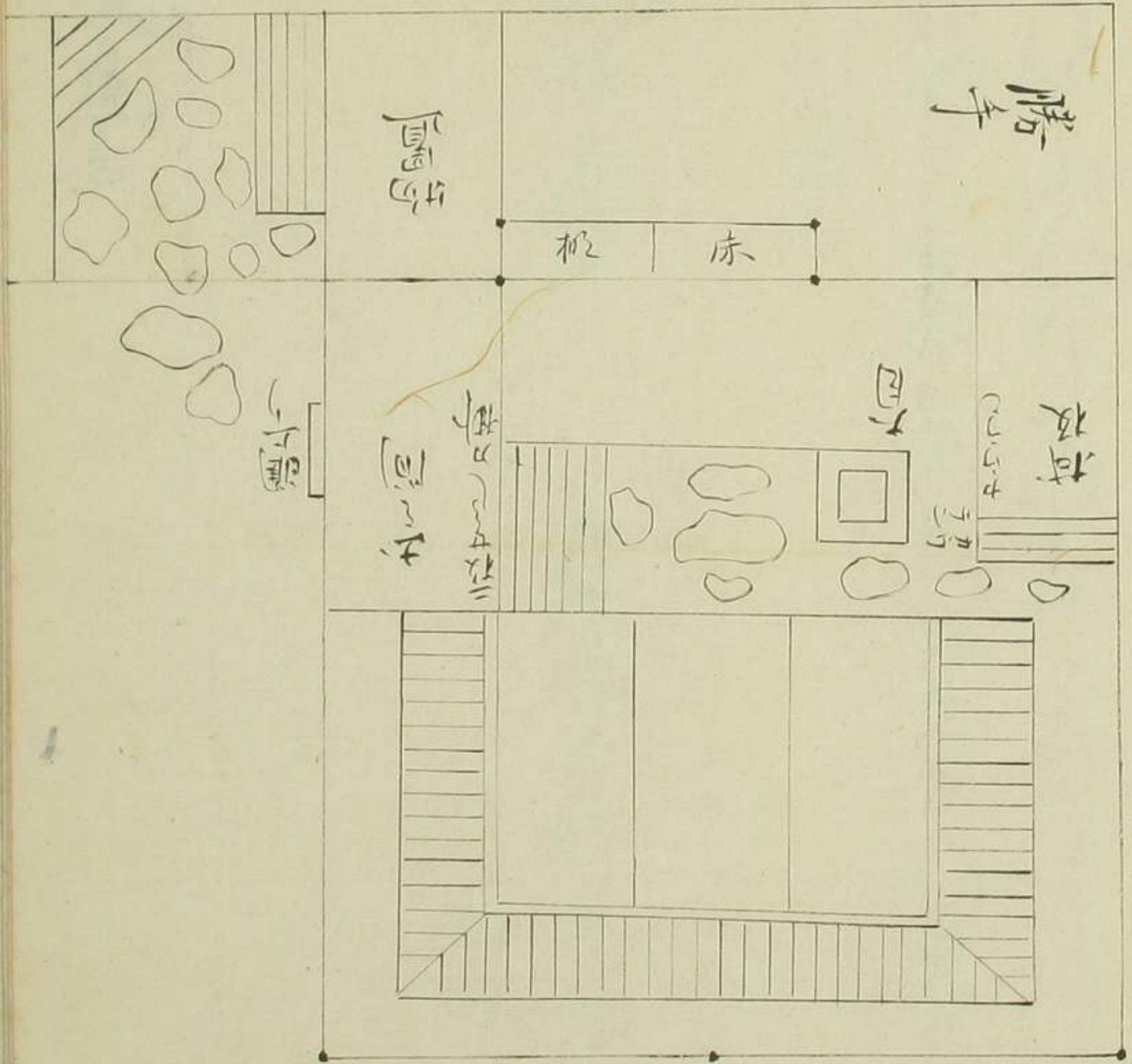
一乃大目之屋鋪

断別書  
具ニアリ

了平邸屋京貞性鋪



細川三齋公人  
佛三茶湯茶室  
ヲ兼テ教書居法  
立本(刻)和  
休差岡之由リ  
中傳





砂雪隠

并書既香筆... 部互の... 綴を...  
... 草葉... 清書を...  
... 其簡編... 成り深志...  
... 免... 甫

寶永七庚寅歲仲冬日

松本林茶軒自跋

見休

貞要集四下大尾



*[Faint, illegible handwriting, possibly bleed-through from the reverse side of the page]*



